

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）			
改 定		現 行	
第1章 一般事項		第1章 一般事項	
1. 見積書の構成		1. 見積書の構成	
見積書は、工事における一定条件のもと、依頼者の要求する仕様を満足する製品等の価格、金額について製造業者又は専門工事業者（以下「作成者」という。）から得る際の書類（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。）であり、その手続きに必要な書類及び見積書の構成は以下による。		見積書は、工事における一定条件のもと、依頼者の要求する仕様を満足する製品等の価格、金額について製造業者又は専門工事業者（以下「作成者」という。）から得る際の書類（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。）であり、その手続きに必要な書類及び見積書の構成は以下による。	
(1) 見積依頼時		(1) 見積依頼時	
① 見積依頼書		① 見積依頼書	
② 見積条件書		② 見積条件書	
③ 設計図書（見積りに必要な部分。）		③ 設計図書（見積りに必要な部分。）	
④ 見積書表紙（必要に応じて）		④ 見積書表紙（必要に応じて）	
⑤ 参考数量（必要に応じて）		⑤ 参考数量（必要に応じて）	
(2) 見積書		(2) 見積書	
① 見積書表紙		① 見積書表紙	
② 見積内訳書		② 見積内訳書	
③ 見積条件書		③ 見積条件書	
2. <u>見積り</u>の内容		2. <u>書式</u>の内容	
(1) 見積依頼書		(1) 見積依頼書	
見積依頼に際し、依頼する物件に関する情報について取りまとめた書類である。 以下に代表的な記載項目を示す。		見積依頼に際し、依頼する物件に関する情報について取りまとめた書類である。 以下に代表的な記載項目を示す。	
① 工事概要に係る項目	② 提出に係る項目	② 工事概要に係る項目	② 提出に係る項目
・工事名 <u>又は施設名</u>	・提出期限	・工事名	・提出期限
・工事場所	・提出部数	・工事場所	・提出部数
・予定工期	・提出先宛名	・予定工期	・提出先宛名
	・提出先		・提出先
	・見積有効期限		・見積有効期限
③ 与条件に係る項目	④ その他の項目	③ 与条件に係る項目	④ その他の項目
・受渡場所	・見積依頼者氏名	・受渡場所	・見積依頼者氏名
・見積範囲	・見積依頼者連絡先	・見積範囲	・見積依頼者連絡先
・その他施工条件等		・その他施工条件等	

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）	
改 定	現 行
(2) 見積条件書 見積条件書は、工事見積に際し依頼者が作成し、工事範囲に含める事項及び含めない事項を明確にし、依頼者の意図する見積対象範囲、施工条件等を作成者へ正確に伝えるための書類である。 また、見積条件書は、作成者が見積条件を確認した事を示すものとして、見積書と合わせて提出を求めるものである。	(2) 見積条件書 見積条件書は、工事見積に際し依頼者が作成し、工事範囲に含める事項及び含めない事項を明確にし、依頼者の意図する見積対象範囲、施工条件等を作成者へ正確に伝えるための書類である。 また、見積条件書は、作成者が見積条件を確認した事を示すものとして、見積書と合わせて提出を求めるものである。
(3) 見積書表紙 見積書表紙は、以下の項目が記載された書類である。 ① 見積金額(合計金額) ② 現場労働者に関する法定福利費 なお、法定福利費とは、雇用保険、健康保険、介護保険及び厚生年金保険の法定の事業主負担額をいう。 ③ 対象工事に係る項目 ④ 作成者に係る項目 ・ 工事名 <u>又は施設名</u> ・ 工事場所 ・ 見積発行年月日 ・ 見積有効期限 ・ 受渡方法 ・ 支払条件 ・ 製造業者又は専門工事業者等名 ・ 同上 所在地 ・ 見積作成者 <u>名（担当者名）</u> ・ 見積作成者 <u>（担当者）</u> 連絡先	(3) 見積書表紙 見積書表紙は、以下の項目が記載された書類である。 ① 見積金額(合計金額) ② 現場労働者に関する法定福利費 なお、法定福利費とは、雇用保険、健康保険、介護保険及び厚生年金保険の法定の事業主負担額をいう。 ③ 対象工事に係る項目 ④ 作成者に係る項目 ・ 工事名 ・ 工事場所 ・ 見積発行年月日 ・ 見積有効期限 ・ 受渡方法 ・ 支払条件 ・ 製造業者又は専門工事業者等名 ・ 同上 所在地 ・ 見積作成者 <u>氏名</u> ・ 見積作成者 連絡先
(4) 見積内訳書 見積内訳書は、見積対象の品目、工事の要求仕様、摘要及び項目（現場労働者に関する法定福利費の項目を含む。）ごとに当該金額が記載されるようにした書類である。	(4) 見積内訳書 見積内訳書は、見積対象の品目、工事の要求仕様、摘要及び項目（現場労働者に関する法定福利費の項目を含む。）ごとに当該金額が記載されるようにした書類である。
(5) その他 現場労働者に関する法定福利費は、原則として雇用保険、健康保険、介護保険及び厚生年金保険を区分して記載されたものとする。	(5) その他 現場労働者に関する法定福利費は、原則として雇用保険、健康保険、介護保険及び厚生年金保険を区分して記載されたものとする。
第2章 標準書式 標準書式は、<u>作成者から見積価格を得るために使用する見積書の構成及び見積りの内容を示すもので、具体的な記載内容については、工事内容に応じたものとする。なお、作成者による見積書は標準書式又は任意書式とする。</u>	第2章 標準書式 標準書式は、<u>以下のとおりとする。</u> <u>本書式は、作成者から見積価格を得るために使用する標準的な書式を示すもので、具体的な記載内容については、工事内容に応じたものとする。</u>

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式5

改定

現行

工事名
工事場所
機器名称
ボイラー

見積番号
会社名

様式 5

工事名
工事場所
機器名称
ボイラー

見積番号
会社名

様式 5

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記号	形式	種別	用途	定格出力 kW	最高使用圧力 MPa	温水出口温度 ℃	使用蒸気圧力 MPa(G)
1	☐ 鋳鉄製 ☐ 鋼製	☐ ボイラー ☐ 小形ボイラー ☐ 簡易ボイラー	☐ 温水 ☐ 給湯 ☐ 蒸気				
2	☐ 鋳鉄製 ☐ 鋼製	☐ ボイラー ☐ 小形ボイラー ☐ 簡易ボイラー	☐ 温水 ☐ 給湯 ☐ 蒸気				

記号	燃料	燃料消費量	制御方式	電源 相 V	最大使用 電流 A	備考	台数
1	☐ 都市ガス ☐ 灯油 ☐ A重油(1種1号) ☐ LPG	m3(N)/h L/h	☐ 常圧 ☐ 比例 ☐ バルブ				
2	☐ 都市ガス ☐ 灯油 ☐ A重油(1種1号) ☐ LPG	m3(N)/h L/h	☐ 常圧 ☐ 比例 ☐ バルブ				

1. 特記事項

1) 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(□適用 □適用外)とする。

2) 電源周波数は(□50Hz □60Hz)とする。

3) 鋼製は(□立形 □炉筒煙管形 □)とする。

4) 都市ガスの発熱量は MJ/m3(N)とし、種類は 、供給圧力は kPaとする。

5) 運転時間計は(□要 □不要)とする。

6) 次の端子を要とする。
(□ 、 □ 、 □)

7) ばい煙濃度計の電源用端子(二次側)は(□要 □不要)とする。

8) 薬液注入装置は(□要 □不要)とする。

9) 定格出力が下記の数値を超えるものは見積金額に据付費(搬入費は除く。)を含むものとする。
鋳鉄製(工場組立品)355kW、鋼製温水419kW

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額

記号	製造者形番	製品 質量kg	標準寸法 mm 長さ 幅 高さ	備考
1				
2				

記号	本体価格	附属品価格	据付費	諸経費	現場労働者に関する 法定福利費	単価計	台数	金額
1								
2								
計								¥

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記号	形式	種別	用途	定格出力 kW	最高使用水頭 m	温水出口 ℃	最高使用圧力 MPa	使用蒸気圧力 MPa(G)
1	☐ 鋳鉄製 ☐ 鋼製	☐ ボイラー ☐ 小形ボイラー ☐ 簡易ボイラー	☐ 温水 ☐ 給湯 ☐ 蒸気					
2	☐ 鋳鉄製 ☐ 鋼製	☐ ボイラー ☐ 小形ボイラー ☐ 簡易ボイラー	☐ 温水 ☐ 給湯 ☐ 蒸気					

記号	燃料	燃料消費量	制御方式	電動機 相 V kW	缶内保有水量 L	備考	台数
1	☐ 都市ガス ☐ 灯油 ☐ A重油(1種1号) ☐ LPG	m3N/h L/h	☐ 常圧 ☐ 比例 ☐ バルブ				
2	☐ 都市ガス ☐ 灯油 ☐ A重油(1種1号) ☐ LPG	m3N/h L/h	☐ 常圧 ☐ 比例 ☐ バルブ				

1. 特記事項

1) 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(□適用 □適用外)とする。

2) 電源周波数は(□50Hz □60Hz)とする。

3) 鋼製は(□立形 □炉筒煙管形 □)とする。

4) 都市ガスの発熱量は MJ/m3Nとし、種類は 、供給圧力は kPaとする。

5) 運転時間計は(□要 □不要)、運転時間表示用端子は(□要 □不要)とする。

6) ばい煙濃度計の電源用端子(二次側)は(□要 □不要)とする。

7) 進相コンデンサーは(□要 □不要)とする。

8) 消費電力表示用端子は(□要 □不要)、給水量表示用端子は(□要 □不要)とする。
燃料消費量表示用端子は(□要 □不要)とする。

9) パーサーとばい煙濃度計までの配管配線を附属と(□する □しない)。

10) 薬液注入装置は(□要 □不要)とする。

11) 定格出力が下記の数値を超えるものは見積金額に据付費(搬入費は除く。)を含むものとする。
鋳鉄製(工場組立品)355kW、鋼製温水419kW

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額

記号	製造者形番	製品 質量kg	標準寸法 mm 長さ 幅 高さ	備考
1				
2				

記号	本体価格	附属品価格	据付費	諸経費	現場労働者に関する 法定福利費	単価計	台数	金額
1								
2								
計								¥

— 頁 —

— 頁 —

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式6

改定

現行

工事名
工事場所
機器名称 温水発生機 (/)

見積番号
会社名

※印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記号	形式	種別	用途	定格出力 kW	最高使用圧力 MPa	温水出口温度 ℃	缶内保有水量 L
1	☐ 鋳鉄製 ☐ 鋼製	☐ 真空式 ☐ 無圧式	☐ 空調用 ☐ 給湯用				
2	☐ 鋳鉄製 ☐ 鋼製	☐ 真空式 ☐ 無圧式	☐ 空調用 ☐ 給湯用				
3	☐ 鋳鉄製 ☐ 鋼製	☐ 真空式 ☐ 無圧式	☐ 空調用 ☐ 給湯用				

記号	燃料	燃料消費量	制御方式	電源		最大使用 電流 A	備考	台数
				相	V			
1	☐ 都市ガス ☐ 灯油 ☐ A重油(1種1号)	m3(N)/h L/h	☐ 比例 ☐ 比例					
2	☐ 都市ガス ☐ 灯油 ☐ A重油(1種1号)	m3(N)/h L/h	☐ 比例 ☐ 比例					
3	☐ 都市ガス ☐ 灯油 ☐ A重油(1種1号)	m3(N)/h L/h	☐ 比例 ☐ 比例					

1. 特記事項
1) 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) (令和 年版) (☐ 適用 ☐ 適用外) とする。
2) 電源周波数は (☐ 50Hz ☐ 60Hz) とする。
3) 都市ガスの発熱量は MJ/m3(N) とし、種類は 、供給圧力は kPa とする。
4) 運転時間計は (☐ 要 ☐ 不要) とする。
5) 次の端子を要とする。
(☐ 、 ☐ 、 ☐)
6) ばい煙濃度計の電源用端子(二次側)は (☐ 要 ☐ 不要) とする。
7) 鋼製(無圧式、真空式)で定格出力1,860kWを超えるものは見積金額に据付費(搬入費は除く。)を含むものとする。

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額

記号	製造者形番	製品 質量kg	標準寸法 mm			備考
			長さ	幅	高さ	
1						
2						
3						

記号	本体価格	附属品価格	据付費	諸経費	現場労働者に関する 法定福利費	単価計	台数	金額
1								
2								
3								
計								¥

— 頁 —

工事名
工事場所
機器名称 温水発生機 (/)

見積番号
会社名

※印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記号	形式	機種	用途	定格出力 kW	最高使用水頭 m	温水出口温度 ℃	缶内保有水量 L
1	☐ 鋳鉄製 ☐ 鋼製	☐ 真空式 ☐ 無圧式	☐ 空調用 ☐ 給湯用				
2	☐ 鋳鉄製 ☐ 鋼製	☐ 真空式 ☐ 無圧式	☐ 空調用 ☐ 給湯用				
3	☐ 鋳鉄製 ☐ 鋼製	☐ 真空式 ☐ 無圧式	☐ 空調用 ☐ 給湯用				

記号	燃料	燃料消費量	制御方式	電動機			回路数	備考	台数
				相	V	kW			
1	☐ 都市ガス ☐ 灯油 ☐ A重油(1種1号)	m3N/h L/h	☐ 比例 ☐ 比例						
2	☐ 都市ガス ☐ 灯油 ☐ A重油(1種1号)	m3N/h L/h	☐ 比例 ☐ 比例						
3	☐ 都市ガス ☐ 灯油 ☐ A重油(1種1号)	m3N/h L/h	☐ 比例 ☐ 比例						

1. 特記事項
1) 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) (令和 年版) (☐ 適用 ☐ 適用外) とする。
2) 電源周波数は (☐ 50Hz ☐ 60Hz) とする。
3) 都市ガスの発熱量は MJ/m3N とし、種類は 、供給圧力は kPa とする。
4) 運転時間計は (☐ 要 ☐ 不要)、運転時間表示用端子は (☐ 要 ☐ 不要) とする。
5) 進相コンデンサーは (☐ 要 ☐ 不要) とする。
6) ばい煙濃度計の電源用端子(二次側)は (☐ 要 ☐ 不要) とする。
7) 地震感知器を附属と (☐ する ☐ しない)。
8) パナマーとはい煙濃度計までの配管配線を附属と (☐ する ☐ しない)。
9) 回路数が複数の場合、熱交換器の出力は、空調用 kW、給湯用 kW とする。
10) 鋼製(無圧式、真空式)で定格出力1,860kWを超えるものは見積金額に据付費(搬入費は除く。)を含むものとする。

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額

記号	製造者形番	製品 質量kg	標準寸法 mm			備考
			長さ	幅	高さ	
1						
2						
3						

記号	本体価格	附属品価格	据付費	諸経費	現場労働者に関する 法定福利費	単価計	台数	金額
1								
2								
3								
計								¥

— 頁 —

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式7

改 定

現 行

工 事 名

工事場所

機器名称

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	冷 凍 能 力 kW	成績係数 COP	冷 水 温 度 ℃		冷 水 量 L/min	冷却水温度 入 口 ℃	冷 却 水 量 L/min
				入 口	出 口			
1								
2								

記号	損 失 水 頭 kPa		冷 媒	電 源		消費電力 kW	最大使用 電 流 A	防振架台	設 計 用 水平震度	台 数
	冷 水	冷 却 水		相	V					
1			☐ R－ ☐ オゾン破壊係数 0					☐ 要 ☐ 不要		
2			☐ R－ ☐ オゾン破壊係数 0					☐ 要 ☐ 不要		

1. 特記事項

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
			長 さ	幅	高 さ	
1						
2						

記号	本 体 価 格	附属品価格	据 付 費	諸 経 費	現場労働者に関する諸 定 額 利 費	単 価 計	台数	金 額
1								
2								
計								¥

工 事 名

工事場所

機器名称

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	冷 凍 能 力 kW	冷 水 温 度 ℃		冷 水 量 L/min	冷却水温度 入 口 ℃	冷 却 水 量 L/min
			入 口	出 口			
1							
2							

記号	損 失 水 頭 (kPa)		冷 媒	圧 縮 機			送 風 機			防振架台	設 計 用 水平震度	台 数
	冷 水	冷 却 水		相	V	kW	相	V	kW			
1			☐ R－ ☐ オゾン破壊係数 0							☐ 要 ☐ 不要		
2			☐ R－ ☐ オゾン破壊係数 0							☐ 要 ☐ 不要		

1. 特記事項

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
			長 さ	幅	高 さ	
1						
2						

記号	本 体 価 格	附属品価格	据 付 費	諸 経 費	現場労働者に関する諸 定 額 利 費	単 価 計	台数	金 額
1								
2								
計								¥

— 頁 —

— 頁 —

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式8

改 定

現 行

工 事 名

工事場所

機器名称 吸収冷凍機 (/)

見積番号

会 社 名

※印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	冷 凍 能 力 kW	成績係数 COP	冷水温度℃		冷水量 L/min	冷却水温度		冷却水量 L/min	損失水頭 kPa	
				入口	出口		入口	℃		冷水	冷却水
1	☐ 一重効用 ☐ 二重効用										
2	☐ 一重効用 ☐ 二重効用										
3	☐ 一重効用 ☐ 二重効用										

記号	加 熱 源 ・ 蒸 気			加熱源・高温水		電 源		消費電力 kW	最大使用 電 流 A	備 考	台 数
	蒸気圧力 kPa (G)	還水温度 ℃	蒸気消費 量 kg/h	高温水温 ℃	高温水量 L/min	相	V				
1											
2											
3											

1. 特記事項

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
			長 さ	幅	高 さ	
1						
2						
3						

記号	本 体 価 格	附属品価格	据 付 費	諸 経 費	現場労働者に関する 法 定 福 利 費	単 価 計	台 数	金 額
1								
2								
3								
計								¥

工 事 名

工事場所

機器名称 吸収冷凍機 (/)

見積番号

会 社 名

※印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	冷 凍 能 力 kW	電 源 容 量			冷 水 温 度 ℃		冷 水 量 L/min	冷却水温度 入口 ℃
			相	V	kVA	入 口	出 口		
1	☐ 一重効用 ☐ 二重効用								
2	☐ 一重効用 ☐ 二重効用								
3	☐ 一重効用 ☐ 二重効用								

記号	冷 却 水 量 L/min	損 失 水 頭 (kPa)	蒸 気 消 費 量 kg/h	熱源温水温度 ℃	熱源温水量 L/min	備 考	台 数
1							
2							
3							

1. 特記事項

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
			長 さ	幅	高 さ	
1						
2						
3						

記号	本 体 価 格	附属品価格	据 付 費	諸 経 費	現場労働者に関する 法 定 福 利 費	単 価 計	台 数	金 額
1								
2								
3								
計								¥

様式 8

様式 8

— 頁 —

— 頁 —

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式

様式9

改定

現行

工事名

工事場所

機器名称

見積番号

会社名

※印が付いたものを適用、印のものは適用しないものとする。

記号	冷凍能力 kW	加熱能力 kW	冷水温度℃ 入口 出口	温水温度℃ 入口 出口	冷温水量 L/min	冷却水温度℃ 入口	冷却水量 L/min	損失水頭 kPa 冷水 冷却水	成績係数 COP
1									
2									

記号	電 源	消費電力 kW 冷 凍 加 熱	最大使用 電 流 A	燃 料	燃 料 消 費 量 冷 凍 , 加 熱	制 御 方 式	台 数	
	相	V						
1					都市ガス □灯油 □A重油(1種1号)	m3 (N) /h L/h	□㍻/□ 比例 □㍻/□	
2					都市ガス □灯油 □A重油(1種1号)	m3 (N) /h L/h	□㍻/□ 比例 □㍻/□	

1. 特記事項

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額

記号	製造者形番	製品 質量kg	標準寸法 mm 長さ 幅 高さ	備考
1				
2				

記号	本体価格	附属品価格	据付費	諸経費	現場労働者に係る法定福利費	単価計	台数	金額
1								
2								
計								¥

工事名

工事場所

機器名称

見積番号

会社名

※印が付いたものを適用、印のものは適用しないものとする。

記号	形式	冷凍能力 kW	加熱能力 kW	冷水温度℃ 入口 出口	温水温度℃ 入口 出口	冷温水量 L/min
1	単体形 組合せ形					
2	単体形 組合せ形					

記号	冷水入口 温度℃	冷却水量 L/min	損失水頭 kPa 冷水 冷却水	電 源 容 量 相 V kVA	燃 料	燃 料 消 費 量 冷 凍 , 加 熱	制 御 方 式	台 数	
1						都市ガス □灯油 □A重油(1種1号)	m3N/h L/h	㍻/㍻ 比例 ㍻/㍻	
2						都市ガス □灯油 □A重油(1種1号)	m3N/h L/h	㍻/㍻ 比例 ㍻/㍻	

1. 特記事項

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額

記号	製造者形番	製品 質量kg	標準寸法 mm 長さ 幅 高さ	備考
1				
2				

記号	本体価格	附属品価格	据付費	諸経費	現場労働者に係る法定福利費	単価計	台数	金額
1								
2								
計								¥

— 頁 —

— 頁 —

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式10

改 定

現 行

工 事 名 _____

様式 10

工事場所 _____

見積番号 _____

機器名称 吸収冷温水機ユニット (/)

会 社 名 _____

※☒印が付けたいものを適用、☐印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	冷凍能力 kW	加熱能力 kW	冷水温度℃		温水温度℃		冷水流量 L/min	冷却水入口 温度℃	冷却水量 L/min	冷温水ポンプ 台 数
				入 口	出 口	入 口	出 口				
1	☐ 単体形 ☐ 組合せ形										
2	☐ 単体形 ☐ 組合せ形										

記号	損失水頭 kPa		成績係数 COP	電 源		消費電力 kW		最大使用 電流 A	燃 料	燃 料 消 費 量		制 御 方 式	台 数
	冷水	冷却水		相	V	冷凍	加熱			冷凍	加熱		
1									☐ 都市ガス ☐ 灯油 ☐ A重油(1種1号)	, m ³ (N)/h L/h	☐ ボイラ ☐ 比例 ☐ バイパ		
2									☐ 都市ガス ☐ 灯油 ☐ A重油(1種1号)	, m ³ (N)/h L/h	☐ ボイラ ☐ 比例 ☐ バイパ		

1. 特記事項
- 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(☐適用 ☐適用外)とする。
 - 電源周波数は(☐50Hz ☐60Hz)とする。
 - 都市ガスの発熱量は MJ/m³(N)とし、種類は 、供給圧力は kPaとする。
 - 本機は二重効用とし、高温再生器は(☐煙管式又は液管式 ☐煙管式 ☐液管式)とする。
 - 排熱熱交換器は(☐要 ☐不要)、排熱投入型再生器は(☐要 ☐不要)とする。
 - 冷水・温水の同時取り出しは(☐要 ☐不要)とする。
 - ばい煙濃度計の電源用端子(二次側)は(☐要 ☐不要)とする。
 - 運転時間計は(☐要 ☐不要)とする。
 - 次の端子を要とする。
(☐ 、 ☐ 、 ☐)
 - 冷温水の切換えに必要な配管バルブは附属とする。
 - 温水熱交換器付の場合、温水熱交換器の水側に逃し弁を設ける。
 - ボイラ、バイパの制御方式で加熱能力/冷凍能力≧0.9の場合は、冷凍能力に応じた燃料制御装置を設ける。
 - 変流量対応と(☐する(☐冷温水 ☐冷却水) ☐しない)。
 - 冷温水機と冷却塔は(☐一体搬入 ☐分割搬入)とする。
 - グリーン購入法の区分に該当する機種は、グリーン購入法の判断基準を満たすものとする。
 - 見積金額に据付費(搬入費は除く。)を含むものとする。

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額

記号	製 造 者 形 番	製 品 質 量 kg			標 準 寸 法 mm								
		一体搬入	分割搬入 (冷温水機)	分割搬入 (冷却塔)	一 体 搬 入			分割搬入(冷温水機)			分割搬入(冷却塔)		
					長さ	幅	高さ	長さ	幅	高さ	長さ	幅	高さ
1													
2													

記号	本 体 価 格	附属品価格	据 付 費	諸 経 費	現場労働者に課する 法定福利費	単 価 計	台 数	金 額
1								
2								
計								¥

工 事 名 _____

様式 10

工事場所 _____

見積番号 _____

機器名称 吸収冷温水機ユニット (/)

会 社 名 _____

※☒印が付けたいものを適用、☐印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	冷凍能力 kW	加熱能力 kW	冷水温度℃		温水温度℃		冷水流量 L/min	冷却水入口 温度℃
				入 口	出 口	入 口	出 口		
1	☐ 単体形 ☐ 組合せ形								
2	☐ 単体形 ☐ 組合せ形								

記号	冷却水量 L/min	損失水頭 kPa		電 源 容 量		冷温水ポンプ 揚 程 m	燃 料	燃 料 消 費 量		制 御 方 式	台 数
		冷水	冷却水	相	V	kVA		冷凍	加熱		
1							☐ 都市ガス ☐ 灯油 ☐ A重油(1種1号)	, m ³ N/h L/h	☐ ボイラ ☐ 比例 ☐ バイパ		
2							☐ 都市ガス ☐ 灯油 ☐ A重油(1種1号)	, m ³ N/h L/h	☐ ボイラ ☐ 比例 ☐ バイパ		

1. 特記事項
- 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(☐適用 ☐適用外)とする。
 - 電源周波数は(☐50Hz ☐60Hz)とする。
 - 都市ガスの発熱量は MJ/m³(N)とし、種類は 、供給圧力は kPaとする。
 - 本機は二重効用とし、高温再生器は(☐煙管式又は液管式 ☐煙管式 ☐液管式)とする。
 - 温水熱交換器付の場合、温水熱交換器の水側に逃し弁を設ける。
 - 電源容量は吸収冷温水機、冷却塔、ポンプ用電源の合計値とする。
 - (☐運転表示 ☐故障表示)用の外部端子を設ける。
 - ばい煙濃度計の電源用端子(二次側)は(☐要 ☐不要)とする。
 - 冷温水の切換えに必要な配管バルブは附属とする。
 - ボイラ、バイパの制御方式で加熱能力/冷凍能力≧0.9の場合は、冷凍能力に応じた燃料制御装置を設ける。
 - 機材の気密試験は工場で実施(☐する ☐しない)。
 - 冷水・温水の同時取り出しは(☐要 ☐不要)とする。
 - 燃料切換装置は(☐要 ☐不要)とする。
 - グリーン購入法の区分に該当する機種は、グリーン購入法の判断基準を満たすものとする。
成績係数(COP)は、 以上とする。
 - 運転時間計は(☐要 ☐不要)、運転時間表示用端子は(☐要 ☐不要)とする。
冷温水出入口温度表示用端子は(☐要 ☐不要)、燃料消費量表示用端子は(☐要 ☐不要)とする。
 - 変流量対応と(☐する(☐冷温水 ☐冷却水) ☐しない)。
 - 冷温水機と冷却塔は(☐一体搬入 ☐分割搬入)とする。
 - 見積金額に据付費(搬入費は除く。)を含むものとする。

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額

記号	製 造 者 形 番	製 品 質 量 kg			標 準 寸 法 mm								
		一体搬入	分割搬入 (冷温水機)	分割搬入 (冷却塔)	一 体 搬 入			分割搬入(冷温水機)			分割搬入(冷却塔)		
					長さ	幅	高さ	長さ	幅	高さ	長さ	幅	高さ
1													
2													

記号	本 体 価 格	附属品価格	据 付 費	諸 経 費	現場労働者に課する 法定福利費	単 価 計	台 数	金 額
1								
2								
計								¥

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式 1 1

改 定

現 行

工 事 名

工事場所

機器名称

見積番号

会 社 名

※印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	冷 凍 能 力 kW	成 績 係 数 COP	冷 水 温 度 ℃ 入 口 出 口	冷 水 量 L/min	冷 却 水 温 度 入 口 ℃	冷 却 水 量 L/min
1	チリングユニット						
2							

記号	損 失 水 頭 冷 水 kPa 冷 却 水	冷 媒	電 源 相 V	消費電力 kW	最大使用 電流 A	防振架台	設 計 用 水平震度	台 数
1		☐ R－ ☐ オゾン破壊係数 0				☐ 要 ☐ 不要		
2		☐ R－ ☐ オゾン破壊係数 0				☐ 要 ☐ 不要		

1. 特記事項

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm 長 さ 幅 高 さ	備 考
1				
2				

記号	本 体 価 格	附属品価格	据 付 費	諸 経 費	現場労働者に関する 労 務 派 遣 費	単 価 計	台 数	金 額
1								
2								
計								¥

— 頁 —

工 事 名

工事場所

機器名称

見積番号

会 社 名

※印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	冷 凍 能 力 kW	冷 水 温 度 ℃ 入 口 出 口	冷 水 量 L/min
1	☐ 冷却専用 ☐			
2	☐ 冷却専用 ☐			

記号	冷 却 水 温 度 入 口 ℃	冷 却 水 量 L/min	損失水頭 kPa 冷水 冷却水	圧 縮 機 相 V kW	冷 媒	防 振 架 台	設 計 用 水平震度	台 数
1					☐ R－ ☐ オゾン破壊係数 0	☐ 要 ☐ 不要		
2					☐ R－ ☐ オゾン破壊係数 0	☐ 要 ☐ 不要		

1. 特記事項

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm 長 さ 幅 高 さ	備 考
1				
2				

記号	本 体 価 格	附属品価格	据 付 費	諸 経 費	現場労働者に関する 労 務 派 遣 費	単 価 計	台 数	金 額
1								
2								
計								¥

— 頁 —

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式12

改 定

現 行

工 事 名

工事場所

機器名称

見積番号

会 社 名

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	冷凍能力 kW	加熱能力 kW	冷水温度℃ 入 口 出 口	温水温度℃ 入 口 出 口	冷水水量 L/min	成績係数 COP	電 源 相 V
1	AHP-1 □冷却専用 □ヒートポンプ							
2	□冷却専用 □ヒートポンプ							

記号	消費電力 kW	最大使用 電流 A	冷 媒	(組込)機外揚程 (無)損失水頭 kPa	防振架台	設計用 水平震度	備 考	台 数
1			□R- □オゾン破壊係数 0	□組込 □無	□要 □不要			
2			□R- □オゾン破壊係数 0	□組込 □無	□要 □不要			

1. 特記事項

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm 長 さ 幅 高 さ	備 考
1				
2				

記号	本 体 価 格	附属品価格	据 付 費	諸 経 費	現場労働者に関する 労 務 費 利 害	単 価 計	台 数	金 額
1								
2								
計								¥

工 事 名

工事場所

機器名称

見積番号

会 社 名

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	冷凍能力 kW	加熱能力 kW	圧 縮 機 相 V kW	送 風 機 相 V kW
1	□冷却専用 □ヒートポンプ				
2	□冷却専用 □ヒートポンプ				

記号	冷水温度℃ 入 口 出 口	温水温度℃ 入 口 出 口	冷（温）水量 L/min	損失水頭 kPa	冷 媒	防 振 架 台	設 計 用 水平震度	台 数
1					□R- □オゾン破壊係数 0	□要 □不要		
2					□R- □オゾン破壊係数 0	□要 □不要		

1. 特記事項

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm 長 さ 幅 高 さ	備 考
1				
2				

記号	本 体 価 格	附属品価格	据 付 費	諸 経 費	現場労働者に関する 労 務 費 利 害	単 価 計	台 数	金 額
1								
2								
計								¥

— 頁 —

— 頁 —

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式13

改定

現行

工事名
工事場所
機器名称 空気熱源ヒートポンプユニット(モジュール形) (/)

見積番号
会社名

様式 13

※印が付いたものを適用、印のものは適用しないものとする。

記号	形式	冷凍能力 kW	加熱能力 kW	冷水温度℃		温水温度℃		冷水水量 L/min	電源	
				入口	出口	入口	出口		相	V
1	AHP-1 □冷却専用 □ヒートポンプ									
2	□冷却専用 □ヒートポンプ									

記号	成績係数 COP	消費電力 kW		最大使用 電流 A	冷媒	冷温水 ポンプ (組込)機外揚程 (無)損失水頭 kPa	防振架台	設計用 水平養度	モジュール 連結数	台数
		冷凍	加熱							
1					□R- □オゾン破壊係数 0	□組込 □無	□要 □不要			
2					□R- □オゾン破壊係数 0	□組込 □無	□要 □不要			

1. 特記事項
1) 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(□適用 □適用外)とする。
2) 電源周波数は(□50Hz □60Hz)とする。
3) 冷凍能力及び加熱能力は JIS B 8613 による。
4) 運転時間計は(□要 □不要)とする。
5) 次の端子を要とする。
(□、□、□)
6) 発停は(□手元 □遠方)発停とする。
7) 圧縮機用電動機の合計定格出力が37kWを超えるものは、見積金額に据付費(搬入費は除く。)を含むものとする。
8) 圧縮機はインバーター制御対応と(□する □しない)。
高調波対策(□要 □不要)とする。
9) 圧縮機、ポンプの出力制御を行うモジュールコントローラーを附属と(□する □しない)。

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額

記号	製造者形番	1モジュール当たり		1モジュール当たり標準寸法 mm			備考
		製品質量kg		長さ	幅	高さ	
1							
2							

記号	本体価格	附属品価格	据付費	諸経費	現場労働者に關する 労務・福利費	単価計	台数	金額
1								
2								
計								¥

工事名
工事場所
機器名称 空気熱源ヒートポンプユニット(モジュール形) (/)

見積番号
会社名

様式 13

※印が付いたものを適用、印のものは適用しないものとする。

記号	形式	冷凍能力 kW	加熱能力 kW	圧縮機			送風機			送水ポンプ		
				相	V	kW	相	V	kW	相	V	kW
1	□冷却専用 □ヒートポンプ											
2	□冷却専用 □ヒートポンプ											

記号	冷水温度℃		温水温度℃		冷(温)水量 L/min	損失水頭 kPa	冷媒	防振架台	設計用 水平養度	モジュール 連結数	台数
	入口	出口	入口	出口							
1							□R- □オゾン破壊係数 0	□要 □不要			
2							□R- □オゾン破壊係数 0	□要 □不要			

1. 特記事項
1) 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(□適用 □適用外)とする。
2) 電源周波数は(□50Hz □60Hz)とする。
3) 冷凍能力及び加熱能力は JIS B 8613 による。
4) 始動方式は(□直入始動 □始動装置による始動(□スターデルタ □順次直入
□バートワインディング □製造者の標準仕様)とする。
5) 発停は(□手元 □遠方)発停とする。
6) スクリュー圧縮機の油分離器は必要に応じて設けるものとする。
7) 運転条件は(□JIS □下記)による。
外気条件 夏季 °CDB, °CWB ; 冬季 °CDB, °CWB
8) 圧縮機用電動機の合計定格出力が37kWを超えるものは、見積金額に据付費(搬入費は除く。)を含むものとする。
9) 成績係数(COP)は 以上とする。
10) 圧縮機はインバーター制御対応と(□する □しない)。
11) 運転時間計は(□要 □不要)、運転時間表示用端子は(□要 □不要)とする。
冷温水出入口温度用端子は(□要 □不要)、消費電力表示用端子は(□要 □不要)とする。
12) 進相コンデンサーは(□要 □不要)とする。
13) 故障警報ブザーは(□要 □不要)とする。
14) 高調波対策 (□要 □不要)とする。
15) 圧縮機、ポンプの出力制御を行うモジュールコントローラーを附属と(□する □しない)。

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額

記号	製造者形番	1モジュール当たり		1モジュール当たり標準寸法 mm			備考
		製品質量kg		長さ	幅	高さ	
1							
2							

記号	本体価格	附属品価格	据付費	諸経費	現場労働者に關する 労務・福利費	単価計	台数	金額
1								
2								
計								¥

1

1

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式14

改定

現行

工事名

工事場所

機器名称

見積番号

会社名

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記号	形式	圧縮機位置	屋内機設置形式	送風形式	冷房能力kW	暖房能力kW	風量m3/h	機外静圧Pa
	□冷房専用 □冷暖兼用	□屋内 □屋外		□直吹(□上 □下)ダクト □グリルダクト				
	□冷房専用 □冷暖兼用	□屋内 □屋外		□直吹(□上 □下)ダクト □グリルダクト				

記号	成績係数COP	冷媒	補助加熱方式	加湿器方式	電源相V	消費電力kW	最大使用電流A	防振架台	設計用水平震度	台数
	□Rー □オゾン破壊係数0		□電気 □					□要 □不要	□屋内 □屋外	
	□Rー □オゾン破壊係数0		□電気 □					□要 □不要	□屋内 □屋外	

1. 特記事項

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「ー」を記入。)

記号	製造者形番	製品質量kg	屋内機標準寸法mm	屋外機標準寸法mm	冷媒配管口径mm	室内、屋外に1間の電気配線仕様	リモコン配線仕様
		屋内機 屋外機	長さ 幅 高さ	長さ 幅 高さ			

記号	本体価格	附属品価格	単価計	台数	金額
			計		¥

— 頁 —

工事名

工事場所

機器名称

見積番号

会社名

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記号	形式	設置形式	圧縮機位置	送風形式
	□冷房専用 □冷暖兼用	□壁掛(WR) □天吊(□CR □) □床置(□FRV() □) □セット(CK-)	□屋内 □屋外	□直吹(□上 □下)ダクト □グリルダクト
	□冷房専用 □冷暖兼用	□壁掛(WR) □天吊(□CR □) □床置(□FRV() □) □セット(CK-)	□屋内 □屋外	□直吹(□上 □下)ダクト □グリルダクト

記号	冷房能力kW	暖房能力kW	風量m3/h	機外静圧Pa	圧縮機相V	屋内送風機相V	屋外送風機相V

1. 特記事項

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「ー」を記入。)

記号	製造者形番	製品質量kg	屋内機標準寸法mm	屋外機標準寸法mm	冷媒配管口径mm	室内、屋外に1間の電気配線仕様	リモコン配線仕様
		屋内機 屋外機	長さ 幅 高さ	長さ 幅 高さ			

記号	本体価格	附属品価格	単価計	台数	金額
			計		¥

— 頁 —

第4章 機械設備工事 1. 見積書式 様式15

現 行

様式 15-1

工事名

工事場所

機器名称 マルチパッケージ形空気調和機

系統名 (/)

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

屋外機 記号	冷房能力 kW	暖房能力 kW	入 力 値			冷 媒	防振架台	設計用 水平震度	台数
			相	V	kW				
1						☐ R- ☐ オゾン破壊係数 0	☐ 要 ☐ 不要		

屋 内 機 記 号	冷房 能力 kW	暖房 能力 kW	送 風 機			補助電気ヒーター			加湿器	設置 形式	防 振 架 台	設 計 用 水平 養 度	運 転 方法	台 数
			相	V	kW	相	V	kW	有効加湿 量 kg/h					
1										☐ 要 ☐ 不要		☐ 同時 ☐ 個別		
2									☐ 要 ☐ 不要	☐ 同時 ☐ 個別				
3										☐ 要 ☐ 不要		☐ 同時 ☐ 個別		
4									☐ 要 ☐ 不要	☐ 同時 ☐ 個別				

1. 特記事項
- 1) 公共建築物工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年昭和(□適用 □適用外)とする。
 - 2) 電源周波数は(□50Hz □60Hz)とする。
 - 3) 冷房能力及び暖房能力は JIS B 8616 による。
 - 4) 暖房能力には補助 **電気ヒーター**の加熱能力を含む。
 - 5) 補助 **電気ヒーター**又は加湿器を組み込む場合は、送風機とインターロックする。
 - 6) 屋内機、屋外機間の電気配線(7-8共)は見積対象外とする。(製造者標準の仕様を様式15-5へ記載する。)
 - 7) **屋外機の入力値は圧縮機電動機出力、送風機電動機出力及び制御用電源の合計値とする。**
 - 8) 遠方廃停用端子は(□集中管理リモコン □中央監視装置 □中央監視装置用 □監視用 □監視用)とする。
中央監視装置用の場合は(□BACnet方式 □LonWorks方式 □)とする。
 - 9) 集中管理リモコンの管理対象と(□する □しない)。
なお、集中管理リモコンの仕様は様式15-5とする。
個別リモコン(ワイヤード)、屋内機 台用 個を附属と(□する □しない)。
リモコン配線は見積対象外とする。(製造者標準の仕様を様式15-5へ記載する。)
 - 10) 冷媒配管は見積対象外とする。(製造者標準の口径を様式15-5へ記載する。)
但し、冷媒分配器は見積を含む。
 - 11) グリーン購入法の区分に該当する機種は、グリーン購入法の判断基準を満たすものとする。
 - 12) 高調波対策(□要 □不要)とする。
2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項)

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「-」を記入。)

項目	記号	製造者形番	入力値台 kW	製品質量kg	標準寸法mm			備考
					長さ	幅	高さ	
屋外機	1							

項目	記号	製 造 者 形 番	送 風 機 台 kW	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
					長 さ	幅	高 さ	
屋 内 機	1		,					
	2		,					
	3		,					
	4		,					

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

改定

第4章 機械設備工事 1. 見積書式

様式16

様式 16-1

工事名

工事場所

機器名称

ガスエンジンヒートポンプ式空調和機

会社名

系統名

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

屋外機 記号	冷房能力 kW	暖房能力 kW	電源		消費電力 kW		最大使用電流 A	成績係数 COP	ガス消費量 kW		冷媒	防振 架台	設計用 水平 震度	台数
			相	V	冷房	暖房			冷房	暖房				
1											☐ Rー ☐ オゾン破壊係数 0	☐ 要 ☐ 不要		

屋内機 記号	冷房能力 kW	暖房能力 kW	設置 形式	電源		消費電力 kW		電源容量 VA	加湿器 方式	有効加湿 量 kg/h	運転 方法	防振 架台	設計用 水平 震度	台数
				相	V	冷房	暖房							
1											☐ 同時 ☐ 個別	☐ 要 ☐ 不要		
2											☐ 同時 ☐ 個別	☐ 要 ☐ 不要		
3											☐ 同時 ☐ 個別	☐ 要 ☐ 不要		

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(□適用 □適用外)とする。

2）電源周波数は(□50Hz □60Hz)とする。

3）ガス燃料は(□都市ガス □LPG)とする。
都市ガスの発熱量は MJ/m3 (N)とし、種類は 、供給圧力は kPaとする。

4）冷房能力及び暖房能力は JIS B 8627 による。

5）加湿器を組み込む場合は、送風機とインターロックする。

6）屋内機、屋外機間の電気配線(7-5共)は見積対象外とする。(製造者標準の仕様を様式16-5へ記載する。)

7）遠方発停用端子は(□集中管理リモコン □中央監視装置(□BACnet方式 □))用とする。

8）集中管理リモコンの仕様は様式16-6とする。
個別リモコン(ワイヤード)、屋内機 台用 個を附属と(□する□しない)。
リモコン配線は見積対象外とする。(製造者標準の仕様を様式16-5へ記載する。)

9）冷媒配管は見積対象外とする。(製造者標準の口径を様式16-5へ記載する。)

但し、冷媒分配器は見積に含む。

10）グリーン購入法の区分に該当する機種は、グリーン購入法の判断基準を満たすものとする。

11）温水取出機能(□あり □なし)。消費電力自給装置(□あり □なし)。
電源自立型空調と(□する □しない)。

12）高調波対策(□要 □不要)とする。

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「一」を記入。)

項目	記号	製造者形番	消費電力 kW		製品 質量kg	標準寸法 mm			備考
			冷房	暖房		長さ	幅	高さ	
屋外機	1		,	,					

項目	記号	製造者形番	消費電力 kW		製品 質量kg	標準寸法 mm			備考
			冷房	暖房		長さ	幅	高さ	
屋内機	1		,						
	2		,						
	3		,						

様式 16-1

工事名

工事場所

機器名称

ガスエンジンヒートポンプ式空調和機

会社名

系統名

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

屋外機 記号	冷房能力 kW	暖房能力 kW	ガス消費量		入力値		冷媒	防振 架台	設計用 水平 震度	台数
			ガス種別	冷房	暖房	相				
1			☐ 都市ガス ☐ LPG	kW	kW			☐ Rー ☐ オゾン破壊係数 0	☐ 要 ☐ 不要	

屋内機 記号	冷房能力 kW	暖房能力 kW	送風機		加湿器 有効加湿 量 kg/h	設置形式	防振 架台	設計用 水平 震度	運転 方法	台数
			相	V						
1							☐ 要 ☐ 不要		☐ 同時 ☐ 個別	
2							☐ 要 ☐ 不要		☐ 同時 ☐ 個別	
3							☐ 要 ☐ 不要		☐ 同時 ☐ 個別	

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(□適用 □適用外)とする。

2）電源周波数は(□50Hz □60Hz)とする。

3）都市ガスの発熱量は MJ/m3Nとし、種類は 、供給圧力は kPaとする。

4）冷房能力及び暖房能力は JIS B 8627 による。

5）加湿器を組み込む場合は、送風機とインターロックする。

6）屋内機、屋外機間の電気配線(7-5共)は見積対象外とする。(製造者標準の仕様を様式16-5へ記載する。)

7）屋外機の入力値は送風機電動機出力、エンジン始動モーター出力及び制御用電源の合計値とする。

8）遠方発停用端子は(□集中管理リモコン □中央監視装置)用とする。
中央監視装置用の場合は(□BACnet方式 □LonWorks方式 □)とする。

9）集中管理リモコンの管理対象と(□する □しない)。
なお、集中管理リモコンの仕様は様式16-6とする。
個別リモコン(ワイヤード)、屋内機 台用 個を附属と(□する□しない)。
リモコン配線は見積対象外とする。(製造者標準の仕様を様式16-5へ記載する。)

10）冷媒配管は見積対象外とする。(製造者標準の口径を様式16-5へ記載する。)

但し、冷媒分配器は見積に含む。

11）グリーン購入法の区分に該当する機種は、グリーン購入法の判断基準を満たすものとする。
期間成績係数(APF)は 以上とする。

12）温水取出機能(□あり □なし)。消費電力自給装置(□あり □なし)。
電源自立型空調と(□する □しない)。

13）高調波対策(□要 □不要)とする。

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「一」を記入。)

項目	記号	製造者形番	ガス消費量 kW		製品 質量kg	標準寸法 mm			備考
			冷房	暖房		長さ	幅	高さ	
屋外機	1		,	,					

項目	記号	製造者形番	送風機		製品 質量kg	標準寸法 mm			備考
			kW	台		長さ	幅	高さ	
屋内機	1		,						
	2		,						
	3		,						

— 頁 —

— 頁 —

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式17

改 定

現 行

工 事 名

工事場所

機器名称

ルームエアコンディショナー

（ / ）

会 社 名

様式 17

見 積 番 号

工 事 名

工事場所

機器名称

ルームエアコンディショナー

（ / ）

会 社 名

様式 17

見 積 番 号

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	設 置 形 式	冷 房 能 力 kW	暖 房 能 力 kW	電 源	
					相	V
1	□冷房専用 □冷暖兼用					
2	□冷房専用 □冷暖兼用					
3	□冷房専用 □冷暖兼用					

記 号	消費電力 kW	電源容量 VA	冷 媒	備 考	台 数
1			□R－ □オゾン破壊係数 0		
2			□R－ □オゾン破壊係数 0		
3			□R－ □オゾン破壊係数 0		

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）適用外とする。

2）電源周波数は（ □50Hz □60Hz）とする。

3）冷房能力及び暖房能力は JIS C 9612 による。

4）屋内機、屋外機間の電気配線（ガス共）は見積対象外とする。（製造者標準の仕様を記載する。）

5）圧縮機は屋外形とする。

6）設置形式の記号は下記による。
FRV:床置（露出）立形、WR:壁掛（露出）形、CR:天井吊り（露出）形、CK-1:おとし形（1方向吹出形）
CK-2:おとし形（2方向吹出形）、CK-3:おとし形（3方向吹出形）、CK-4:おとし形（4方向吹出形）

7）グリーン購入法の区分に該当する機種は、グリーン購入法の判断基準を満たすものとする。

8）リモコン（ □リヤード □リヤレ） 個を附属とする。
リモコン配線は見積対象外とする。（製造者標準の仕様を記載する。）

9）冷媒配管は見積対象外とする。（製造者標準の口径を記載する。）

2. 製造者記載事項（設計仕様と異なる事項等）

3. 製造者仕様及び金額（製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。）

記号	製造者形番	製品質量 kg		屋内機標準寸法 mm		屋外機標準寸法 mm		冷媒配管		屋内、屋外間の電気配線仕様	リモコン配線仕様
		屋内機	屋外機	長さ	高さ	長さ	高さ	長さ	口径 mm		
1											
2											
3											

記号	本体価格	附属品価格				単価計	台数	金額
1								
2								
3								
計								¥

－ 頁 －

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	設 置 形 式	冷 房 能 力 kW	暖 房 能 力 kW	圧 縮 機		
					相	V	kW
1	□冷房専用 □冷暖兼用						
2	□冷房専用 □冷暖兼用						
3	□冷房専用 □冷暖兼用						

記号	送風機(室内屋外共)	相	V	kW	冷 媒	備 考	台 数
1					□R－ □オゾン破壊係数 0		
2					□R－ □オゾン破壊係数 0		
3					□R－ □オゾン破壊係数 0		

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）適用外とする。

2）電源周波数は（ □50Hz □60Hz）とする。

3）冷房能力及び暖房能力は JIS C 9612 による。

4）屋内機、屋外機間の電気配線（ガス共）は見積対象外とする。（製造者標準の仕様を記載する。）

5）圧縮機は屋外形とする。

6）設置形式の記号は下記による。
FRV:床置（露出）立形、WR:壁掛（露出）形、CR:天井吊り（露出）形、CK-1:おとし形（1方向吹出形）
CK-2:おとし形（2方向吹出形）、CK-3:おとし形（3方向吹出形）、CK-4:おとし形（4方向吹出形）

7）グリーン購入法の区分に該当する機種は、グリーン購入法の判断基準を満たすものとする。

8）リモコン（ □リヤード □リヤレ） 個を附属とする。
リモコン配線は見積対象外とする。（製造者標準の仕様を記載する。）

9）冷媒配管は見積対象外とする。（製造者標準の口径を記載する。）

2. 製造者記載事項（設計仕様と異なる事項等）

3. 製造者仕様及び金額（製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。）

記号	製造者形番	製品質量 kg		屋内機標準寸法 mm		屋外機標準寸法 mm		冷媒配管		屋内、屋外間の電気配線仕様	リモコン配線仕様
		屋内機	屋外機	長さ	高さ	長さ	高さ	長さ	口径 mm		
1											
2											
3											

記号	本体価格	附属品価格				単価計	台数	金額
1								
2								
3								
計								¥

－ 頁 －

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式18

改定

現行

工事名

工事場所

機器名称

見積番号

会社名

※印が付いたものを適用、印のものは適用しないものとする。

記号	形式	冷却能力 kW	加熱能力 kW	送風機風量 m3/h	機外静圧 Pa	外気量 m3/h	水量(蒸気量) L/min(kg/h)	損失水頭 kPa	防振 架台	設計用 水平震度
1	☐立形 ☐横形								☐要 ☐不要	
2	☐立形 ☐横形								☐要 ☐不要	
3	☐立形 ☐横形								☐要 ☐不要	
4	☐立形 ☐横形								☐要 ☐不要	

記号	冷 却 コ イ ル				加 熱 コ イ ル				電 源	消費電力 kW	電動機出力 kW	加湿器		台数	
	入口空気 DB℃	出口空気 WB℃	入口空気 DB℃	出口空気 WB℃	入口空気 DB℃	出口空気 WB℃	方式	有効加湿量 kg/h							
1															
2															
3															
4															

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和 年版）（適用 □適用外）とする。

2）電源周波数は（ □50Hz □60Hz ）とする。

3）冷水入口温度 ℃；冷水出口温度 ℃とする。
温水入口温度 ℃；蒸気圧 MPa(G) とする。

4）風量調整機構は（ □手動（開度指示付） □リバー制御 ）とする。

5）制御盤は（ □要（標準仕様書第2編1.2.2の項を適用） □不要 ）とする。
外部信号入力端子は（ □要 □不要 ）とする。

インバーター制御の場合は、インバーター故障時の商用電源バイパス回路（ □要 □不要 ）とする。

6）インバーター用制御回路及び操作盤は（ □附属（製造者標準仕様） □別途 ）とする。
高調波対策（ □要 □不要 ）とする。

7）コイルは（ □冷温水兼用 □冷水専用 □温水専用 □蒸気用 ）とする。

8）エアフィルタ損失は機外に含むものとする。

9）加湿状態点検用ランプは（ □要 □不要 ）とする。

2. 製造者記載事項（設計仕様と異なる事項等）

3. 製造者仕様及び金額（製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。）

記号	製造者形番	製品質量kg	標準寸法mm			本体価格	附属品価格	台数	金額
			長さ	幅	高さ				
1									
2									
3									
4									
計									¥

－ 頁 －

工事名

工事場所

機器名称

見積番号

会社名

※印が付いたものを適用、印のものは適用しないものとする。

記号	形式	冷却能力 kW	加熱能力 kW	送風機風量 m3/h	機外静圧 Pa	外気量 m3/h	水量(蒸気量) L/min(kg/h)	損失水頭 kPa	防振 架台	設計用 水平震度
1	☐立形 ☐横形								☐要 ☐不要	
2	☐立形 ☐横形								☐要 ☐不要	
3	☐立形 ☐横形								☐要 ☐不要	
4	☐立形 ☐横形								☐要 ☐不要	

記号	冷 却 コ イ ル				加 熱 コ イ ル				電動機 kW	加湿器		台数	
	入口空気 DB℃	出口空気 WB℃	入口空気 DB℃	出口空気 WB℃	入口空気 DB℃	出口空気 WB℃	入口空気 DB℃	出口空気 WB℃		方式	有効加湿量 kg/h		電動機 kW
1										☐蒸気 □水気化 ☐水加圧			
2										☐蒸気 □水気化 ☐水加圧			
3										☐蒸気 □水気化 ☐水加圧			
4										☐蒸気 □水気化 ☐水加圧			

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和 年版）（適用 □適用外）とする。

2）電源周波数は（ □50Hz □60Hz ）とする。

3）冷水入口温度 ℃；冷水出口温度 ℃とする。
温水入口温度 ℃；蒸気圧 MPa(G) とする。

4）風量調整機構は（ □手動（開度指示付） □リバー制御 ）とする。

5）インバーター用制御回路及び操作盤を（ □附属（製造者標準仕様） □別途 ）とする。
附属する制御盤は（ □標準仕様書第2編1.2.2の項を適用 □製造者標準仕様 ）とする。
インバーター制御の場合は、インバーター故障時の商用電源バイパス回路（ □要 □不要 ）とする。
外部信号入力端子は（ □要 □不要 ）とする。

6）コイルは（ □冷温水兼用 □冷水専用 □温水専用 □蒸気用 ）とする。

7）電動機は3相200Vとする。

8）エアフィルタ損失は機外に含むものとする。

9）水加圧式加湿器は 相 Vとする。

10）加湿状態点検用ランプは（ □要 □不要 ）とする。

2. 製造者記載事項（設計仕様と異なる事項等）

3. 製造者仕様及び金額（製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。）

記号	製造者形番	製品質量kg	標準寸法mm			本体価格	附属品価格	台数	金額
			長さ	幅	高さ				
1									
2									
3									
4									
計									¥

－ 頁 －

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式19

改定

現行

工事名

工事場所

機器名称

※印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記号	形式	潜熱コイル				顕熱コイル			
		冷却能力 kW	加熱能力 kW	水量 L/min	損失水頭 kPa	冷却能力 kW	加熱能力 kW	水量 L/min	損失水頭 kPa
1	☐ 立形 ☐ 横形								
2	☐ 立形 ☐ 横形								

記号	潜熱コイル				顕熱コイル			
	冷却		加熱		冷却		加熱	
	入口空気 DB℃	出口空気 WB℃	入口空気 DB℃	出口空気 WB℃	入口空気 DB℃	出口空気 WB℃	入口空気 DB℃	出口空気 WB℃
1								
2								

記号	送風量 m3/h	還気量 m3/h	外気量 m3/h	機外静圧 Pa	電源		消費電力 kW	電動機出力 kW	加温器 方式	有効 加温量 kg/h	防振架台	設計用 水平震度	台数
					相	V							
1											☐ 要 ☐ 不要		
2											☐ 要 ☐ 不要		

1. 特記事項

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製造者形番	製品 質量kg	標準寸法 mm			本体価格	附属品価格	台数	金額
			長さ	幅	高さ				
1									
2									
3									
計									¥

工事名

工事場所

機器名称

※印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記号	形式	外気負荷用コイル				室内負荷用コイル				送風量 m3/h	還気量 m3/h	外気量 m3/h	機外静圧 Pa	電動機 kW	有効 加湿量 kg/h
		冷却能力 kW	加熱能力 kW	水量 L/min	損失水頭 kPa	冷却能力 kW	加熱能力 kW	水量 L/min	損失水頭 kPa						
1	☐ 立形 ☐ 横形														
2	☐ 立形 ☐ 横形														
3	☐ 立形 ☐ 横形														

記号	外気負荷用コイル				室内負荷用コイル				台数
	冷却		加熱		冷却		加熱		
	入口空気 DB℃	出口空気 WB℃	入口空気 DB℃	出口空気 WB℃	入口空気 DB℃	出口空気 WB℃	入口空気 DB℃	出口空気 WB℃	
1									
2									
3									

1. 特記事項

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製造者形番	製品 質量kg	標準寸法 mm			本体価格	附属品価格	台数	金額
			長さ	幅	高さ				
1									
2									
3									
計									¥

1. 特記事項

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

1. 特記事項

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

－ 頁 －

－ 頁 －

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式20

改 定

現 行

様式 20

工 事 名

工事場所

見積番号

機器名称

コンパクト形空調機

（ / ）

会 社 名

※■印が付けいたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	冷却能力 kW	加熱能力 kW	送風機風量 m3/h	還風機風量 m3/h	機外静圧		外気量 m3/h	電源		消費電力 kW	電動機出力		防振 架 台	設 計 用 水 平 養 度
					送風機 Pa	還風機 Pa		相	V		送風機 kW	還風機 kW		
1													☐ 要 ☐ 不要	
2													☐ 要 ☐ 不要	
3													☐ 要 ☐ 不要	

記号	冷 却 コ イ ル				加 熱 コ イ ル				水 量 L/min	損失水頭 kPa	加湿器		台 数
	入 口 空 気 DB℃	W B℃	D B℃	W B℃	入 口 空 気 D B℃	W B℃	D B℃	W B℃			方 式	有効加湿 量 kg/h	
1											☐ 蒸気 ☐ 水気化 ☐ 水加圧		
2											☐ 蒸気 ☐ 水気化 ☐ 水加圧		
3											☐ 蒸気 ☐ 水気化 ☐ 水加圧		

1. 特記事項
- 1）公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和 年版）（ □適用 □適用外）とする。
- 2）電源周波数は（ □50Hz □60Hz）とする。
- 3）冷水入口温度 ℃；冷水出口温度 ℃とする。
温水入口温度 ℃；蒸気圧 MPa (G) とする。
- 4）風量調整機構は（ □手動（開度指示付） □インバーター制御 ）とする。
- 5）制御盤は（ □要（標準仕様書第2編1.2.2の項を適用） □不要）とする。
外部信号入力端子は（ □要 □不要）とする。
インバーター制御の場合は、インバーター故障時の商用電源バイパス回路（ □要 □不要）とする。
- 6）インバーター用制御回路及び操作盤は（ □附属（製造者標準仕様） □別途 ）とする。
高調波対策（ □要 □不要）とする。
- 7）ケーシング内に組み込んだフィルター等の圧損は機内静圧とする。
- 8）コイルは（ □冷温水兼用 □冷水専用 □温水専用 □蒸気用 ）とする。
- 9）メインフィルターは（ □折込み形（薄形） □電気集じん器（パネル形） ）とする。
折込み形（薄形）の場合は（ □中性性能 □高性能 □HE P A ）とする。
ろ材の予備は、（ □M Fフィルター %、□P Fフィルター %）を附属とする。
- 10）床吹出形と（ □する □しない）。
床吹出形とする場合は、下部吹出口チャンバーの高さは mmとする。
2. 製造者記載事項（設計仕様と異なる事項等）

3. 製造者仕様及び金額（製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。）

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			本 体 価 格	附属品価格	台数	金 額
			長 さ	幅	高 さ				
1									
2									
3									
計									¥

様式 20

工 事 名

工事場所

見積番号

機器名称

コンパクト形空調機

（ / ）

会 社 名

※■印が付けいたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	冷却能力 kW	加熱能力 kW	送風機風量 m3/h	還風機風量 m3/h	外 気 量 m3/h	送 風 機 機外静圧 Pa	還 風 機 機外静圧 Pa	送風機 電動機 kW	還風機 電動機 kW	防振 架 台	設 計 用 水 平 養 度
1										☐ 要 ☐ 不要	
2										☐ 要 ☐ 不要	
3										☐ 要 ☐ 不要	

記号	冷 却 コ イ ル				加 熱 コ イ ル				水量 L/min	損失水頭 kPa	加 湿 器			台数
	入 口 空 気		出 口 空 気		入 口 空 気		出 口 空 気				方 式	有効加湿 量 kg/h	電 動 機 kW	
	D B℃	W B℃	D B℃	W B℃	D B℃	W B℃	D B℃	W B℃						
1											☐ 蒸気 ☐ 水気化 ☐ 水加圧			
2											☐ 蒸気 ☐ 水気化 ☐ 水加圧			
3											☐ 蒸気 ☐ 水気化 ☐ 水加圧			

1. 特記事項
- 1）公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和 年版）（ □適用 □適用外）とする。
- 2）電源周波数は（ □50Hz □60Hz）とする。
- 3）冷水入口温度 ℃；冷水出口温度 ℃とする。
温水入口温度 ℃；蒸気圧 MPa (G) とする。
- 4）風量調整機構は（ □手動（開度指示付） □インバーター制御 ）とする。
- 5）インバーター用制御回路及び操作盤を（ □附属（製造者標準仕様） □別途 ）とする。
附属する制御盤は（ □標準仕様書第2編1.2.2の項を適用 □製造者標準仕様 ）とする。
高調波対策（ □要 □不要）とする。
インバーター制御の場合は、インバーター故障時の商用電源バイパス回路（ □要 □不要）とする。
外部信号入力端子は（ □要 □不要）とする。
- 6）ケーシング内に組み込んだフィルター等の圧損は機内静圧とする。
- 7）電動機は三相200Vとする。
- 8）水加圧露式加湿器は 相 Vとする。
- 9）コイルは（ □冷温水兼用 □冷水専用 □温水専用 □蒸気用 ）とする。
- 10）メインフィルターは（ □折込み形（薄形） □電気集じん器（パネル形） ）とする。
折込み形（薄形）の場合は（ □中性性能 □高性能 □HE P A ）とする。
ろ材の予備は、（ □M Fフィルター %、□P Fフィルター %）を附属とする。
- 11）床吹出形と（ □する □しない）。
床吹出形とする場合は、下部吹出口チャンバーの高さは mmとする。
2. 製造者記載事項（設計仕様と異なる事項等）

3. 製造者仕様及び金額（製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。）

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			本 体 価 格	附属品価格	台数	金 額
			長 さ	幅	高 さ				
1									
2									
3									
計									¥

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式22

改 定

現 行

工 事 名

工事場所

機器名称

見積番号

会 社 名

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記号	形式	冷房能力		暖房能力	水量		損失 水頭 kPa
		全熱 kW	顕熱 kW	kW	冷房 L/min	暖房 L/min	
1							
2							
3							

形式

FRV(J)：床置(露出)立形(直吹)
FRH：床置(露出)横形
FIH：床置(隠ぺい)横形
FRL：床置(露出)ロ-ボイ形
FIL：床置(隠ぺい)ロ-ボイ形
CR：天井吊り(露出)形
CIS：天井吊り(隠ぺい)形(片タテ形)
CID：天井吊り(隠ぺい)形(両タテ形)
CK-1：カセット形(1方向吹出形)
CK-2：カセット形(2方向吹出形)
-HT：大温度差対応仕様
-L：低温送水対応仕様

記号	送風機 風量 m3/h	電源		消費 電力 kW	電源 容量 VA	冷却		加熱	台数
		相	V	kW	VA	DB(℃)	WB(℃)	DB(℃)	
1									
2									
3									

1. 特記事項

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製造者形番	製品 質量kg	標準寸法			操作スイッチ用 配線仕様	備 考
			長さ	幅	高さ		
1							
2							
3							

記号	本体価格	附属品価格				単 価 計	台数	金 額
1								
2								
3								
計								¥

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記号	形式	冷房能力		暖房能力	水量	
		全熱 kW	顕熱 kW	kW	冷房 L/min	暖房 L/min
1						
2						
3						

形式

FRV(J)：床置(露出)立形(直吹)
FRH：床置(露出)横形
FIH：床置(隠ぺい)横形
FRL：床置(露出)ロ-ボイ形
FIL：床置(隠ぺい)ロ-ボイ形
CR：天井吊り(露出)形
CIS：天井吊り(隠ぺい)形(片タテ形)
CID：天井吊り(隠ぺい)形(両タテ形)
CK-1：カセット形(1方向吹出形)
CK-2：カセット形(2方向吹出形)
-HT：大温度差対応仕様
-L：低温送水対応仕様

記号	損失 水頭 kPa	送風機 風量 m3/h	電動機 VA	冷却		加熱	台数
				DB(℃)	WB(℃)	DB(℃)	
1							
2							
3							

1. 特記事項

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製造者形番	製品 質量kg	標準寸法			操作スイッチ用 配線仕様	備 考
			長さ	幅	高さ		
1							
2							
3							

記号	本体価格	附属品価格				単 価 計	台数	金 額
1								
2								
3								
計								¥

— 頁 —

— 頁 —

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式24

改 定

現 行

工 事 名

工事場所

機器名称

見積番号

会 社 名

空気清浄装置（自動巻取形・電気集じん器）（ / ）

工 事 名

工事場所

機器名称

見積番号

会 社 名

空気清浄装置（自動巻取形・電気集じん器）（ / ）

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号		形 式		風 量 m3/h	圧力損失 Pa以下 初 期 最 終	
1		☐ 自動巻取形 ☐ 電気集じん器（ ☐ 自動巻取形 ☐ パネル形）	☐ 立形 ☐ 横形			
2		☐ 自動巻取形 ☐ 電気集じん器（ ☐ 自動巻取形 ☐ パネル形）	☐ 立形 ☐ 横形			
3		☐ 自動巻取形 ☐ 電気集じん器（ ☐ 自動巻取形 ☐ パネル形）	☐ 立形 ☐ 横形			
4		☐ 自動巻取形 ☐ 電気集じん器（ ☐ 自動巻取形 ☐ パネル形）	☐ 立形 ☐ 横形			

記 号

電源

消費電力

最大使用電流

相 V kW A

備考

台 数

1						
2						
3						
4						

1. 特記事項

2. 製造者記載事項（設計仕様と異なる事項等）

3. 製造者仕様及び金額（製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。）

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			本 体 価 格	予備品価格	台数	金 額
			長 さ	幅	高 さ				
1									
2									
3									
4									
計									¥

－ 頁 －

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号		形 式		風 量 m3/h	圧力損失 Pa以下 初 期 最 終	
1		☐ 自動巻取形 ☐ 電気集じん器（ ☐ 自動巻取形 ☐ パネル形）	☐ 立形 ☐ 横形			
2		☐ 自動巻取形 ☐ 電気集じん器（ ☐ 自動巻取形 ☐ パネル形）	☐ 立形 ☐ 横形			
3		☐ 自動巻取形 ☐ 電気集じん器（ ☐ 自動巻取形 ☐ パネル形）	☐ 立形 ☐ 横形			
4		☐ 自動巻取形 ☐ 電気集じん器（ ☐ 自動巻取形 ☐ パネル形）	☐ 立形 ☐ 横形			

記号

風 量

圧力損失 Pa以下

電 動 機

粒子捕集率

m3/h 初 期 最 終 相 V kW % 以 上

備 考

台 数

1									
2									
3									
4									

1. 特記事項

2. 製造者記載事項（設計仕様と異なる事項等）

3. 製造者仕様及び金額（製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。）

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			本 体 価 格	予備品価格	台数	金 額
			長 さ	幅	高 さ				
1									
2									
3									
4									
計									¥

－ 頁 －

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式25

改 定

現 行

工 事 名

工事場所

機器名称

見積番号

会 社 名

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	風 量 m3/h		面 風 速 m/s	交 換 効 率 %	圧 力 損 失 Pa		フ ィ ル タ ー の 有 無 種 類	
		給 気	排 気			給 気	排 気	外 気	還 気
1	☐ 回転形 ☐ 静止形								
2	☐ 回転形 ☐ 静止形								
3	☐ 回転形 ☐ 静止形								

記号	電源		電動機出力 kW			消費電力 kW	最大使用 電流 A	防 振 架 台	設 計 用 水 平 震 度	台 数
	相	V	駆 動	給 気	排 気					
1							☐ 要 ☐ 不要			
2							☐ 要 ☐ 不要			
3							☐ 要 ☐ 不要			

1. 特記事項

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
			長 さ	幅	高 さ	
1						
2						
3						

記号	本 体 価 格	附属品価格	予備品価格			単 価 計	台数	金 額
1								
2								
3								
計								¥

－ 頁 －

工 事 名

工事場所

機器名称

見積番号

会 社 名

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	交 換 効 率 %	面 風 速 m/s	初 期 抵 抗 Pa	風 量 m3/h		機 外 静 圧 Pa		フ ィ ル タ ー の 有 無 種 類	
					給 気	排 気	給 気	排 気	外 気	還 気
1	☐ 回転形 ☐ 静止形									
2	☐ 回転形 ☐ 静止形									
3	☐ 回転形 ☐ 静止形									

記号	駆 動 電 動 機			給 気 送 風 電 動 機			排 気 送 風 電 動 機			防 振 架 台	設 計 用 水 平 震 度	台 数
	相	V	kW	相	V	kW	相	V	kW			
1										☐ 要 ☐ 不要		
2										☐ 要 ☐ 不要		
3										☐ 要 ☐ 不要		

1. 特記事項

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
			長 さ	幅	高 さ	
1						
2						
3						

記号	本 体 価 格	附属品価格	予備品価格			単 価 計	台数	金 額
1								
2								
3								
計								¥

－ 頁 －

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式26

改定

現行

工事名
工事場所
機器名称 全熱交換ユニット (/)

見積番号
会社名

様式 26

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記号	形式	仕様	電源		消費電力 kW	電源容量 VA 最大使用電流 A	台数
			相	V			
1	□天井隠べい形 □床置形 □ｶｯﾁﾝｸﾞ形 □壁掛形	風量 m3/h 静圧 Pa				VA A	
2	□天井隠べい形 □床置形 □ｶｯﾁﾝｸﾞ形 □壁掛形	風量 m3/h 静圧 Pa				VA A	
3	□天井隠べい形 □床置形 □ｶｯﾁﾝｸﾞ形 □壁掛形	風量 m3/h 静圧 Pa				VA A	
4	□天井隠べい形 □床置形 □ｶｯﾁﾝｸﾞ形 □壁掛形	風量 m3/h 静圧 Pa				VA A	
5	□天井隠べい形 □床置形 □ｶｯﾁﾝｸﾞ形 □壁掛形	風量 m3/h 静圧 Pa				VA A	

1. 特記事項 1) 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(□適用 □適用外)とする。
2) 電源周波数は(□50Hz □60Hz)とする。
3) フィルターの予備は %とする。
4) 操作スイッチ(□ワイヤード形 □ワイヤレス形)を附属とし、運転表示灯付きとする。
なお、ワイヤード形の配線は見積対象外とする。(製造者標準の仕様を記載する。)

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製造者形番	製品 質量kg	標準寸法 mm			操作スイッチ用 配線仕様	備考
			長さ	幅	高さ		
1							
2							
3							
4							
5							

記号	本体価格	附属品価格	予備品価格		単価計	台数	金額
1							
2							
3							
4							
5							
計							¥

－ 頁 －

工事名
工事場所
機器名称 全熱交換ユニット (/)

見積番号
会社名

様式 26

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記号	形式	仕様	電動機			備考	台数
			相	V	kW		
1	□天井隠べい形 □床置形 □ｶｯﾁﾝｸﾞ形 □壁掛形	風量 m3/h 静圧 Pa					
2	□天井隠べい形 □床置形 □ｶｯﾁﾝｸﾞ形 □壁掛形	風量 m3/h 静圧 Pa					
3	□天井隠べい形 □床置形 □ｶｯﾁﾝｸﾞ形 □壁掛形	風量 m3/h 静圧 Pa					
4	□天井隠べい形 □床置形 □ｶｯﾁﾝｸﾞ形 □壁掛形	風量 m3/h 静圧 Pa					
5	□天井隠べい形 □床置形 □ｶｯﾁﾝｸﾞ形 □壁掛形	風量 m3/h 静圧 Pa					

1. 特記事項 1) 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(□適用 □適用外)とする。
2) 電源周波数は(□50Hz □60Hz)とする。
3) フィルターの予備は %とする。
4) 操作スイッチ(□ワイヤード形 □ワイヤレス形)を附属とし、運転表示灯付きとする。
なお、ワイヤード形の配線は見積対象外とする。(製造者標準の仕様を記載する。)

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製造者形番	製品 質量kg	標準寸法 mm			操作スイッチ用 配線仕様	備考
			長さ	幅	高さ		
1							
2							
3							
4							
5							

記号	本体価格	附属品価格	予備品価格		単価計	台数	金額
1							
2							
3							
4							
5							
計							¥

－ 頁 －

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式27

改 定

現 行

工 事 名

工事場所

機器名称

冷却塔

（ / ）

見積番号

会 社 名

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	冷 却 能 力 kW	電 源		消費電力 kW	最大使用 電流 A	冷 却 水 温 度	
			相	V			入 口 ℃	出 口 ℃
1	□対向流形 □直交流形							
2	□対向流形 □直交流形							
3	□対向流形 □直交流形							

記号	冷 却 水 量 L/min	許 容 騒 音 値 dB(A)	設 計 用 水 平 震 度	備 考	台 数
1					
2					
3					

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(□適用 □適用外)とする。

2）電源周波数は(□50Hz □60Hz)とする。

3）外気湿球温度は ℃とする。

4）塔本体の高さが1.5m以上の場合は、はしごを設ける。

5）騒音値は「日本冷却塔工業会基準」による。

6）組立ボルト及びナットはステンレス製又は溶融亜鉛メッキとする。

7）白煙防止装置は(□要 □不要)とする。

8）直交流形の配管方式は(□外部配管形 □内部配管形)とする。

9）建築物の屋上(地階を除く階数が11以上)に(□置く □置かない)。

10）薬液注入装置は(□要 □不要)とする。

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
			長 さ	幅	高 さ	
1						
2						
3						

記号	本 体 価 格	薬 液 注 入 装 置 価 格	附属品価格			単 価 計	台 数	金 額
1								
2								
3								
計								¥

— 頁 —

工 事 名

工事場所

機器名称

冷却塔

（ / ）

見積番号

会 社 名

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	冷 却 能 力 kW	電 動 機			冷 却 水 温 度		冷却水量 L/min
			相	V	kW	入 口 ℃	出 口 ℃	
1	□対向流形□直交流形							
2	□対向流形□直交流形							
3	□対向流形□直交流形							

記号	許 容 騒 音 値 dB(A)	設 計 用 水 平 震 度	備 考	台 数
1				
2				
3				

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(□適用 □適用外)とする。

2）電源周波数は(□50Hz □60Hz)とする。

3）外気湿球温度は ℃とする。

4）塔本体の高さが1.5m以上の場合は、はしごを設ける。

5）騒音値は「日本冷却塔工業会基準」による。

6）組立ボルト及びナットはステンレス製又は溶融亜鉛メッキとする。

7）白煙防止装置は(□要 □不要)とする。

8）直交流形の配管方式は(□外部配管形 □内部配管形)とする。

9）建築物の屋上(地階を除く階数が11以上)に(□置く □置かない)。

10）薬液注入装置は(□要 □不要)とする。

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
			長 さ	幅	高 さ	
1						
2						
3						

記号	本 体 価 格	薬 液 注 入 装 置 価 格	附属品価格			単 価 計	台 数	金 額
1								
2								
3								
計								¥

— 頁 —

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式28

改 定

現 行

工事名

様式 28

工事場所 見積番号

機器名称 空調用ポンプ (/) 会社名

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記号		用途	仕様	押込圧力 MPa	電源			消費電 力 ㎾	電動機 出力 ㎾	防振 架台	設計用 水平震度	台数
					相	V	極					
1	☐ 片吸込 ☐ 両吸込	☐ 冷温水用 ☐ 冷却水用	mmφ L/min m							☐ 要 ☐ 不要		
2	☐ 片吸込 ☐ 両吸込	☐ 冷温水用 ☐ 冷却水用	mmφ L/min m							☐ 要 ☐ 不要		
3	☐ 片吸込 ☐ 両吸込	☐ 冷温水用 ☐ 冷却水用	mmφ L/min m							☐ 要 ☐ 不要		
4	☐ 片吸込 ☐ 両吸込	☐ 冷温水用 ☐ 冷却水用	mmφ L/min m							☐ 要 ☐ 不要		

1. 特記事項
- 1) 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(□適用 □適用外)とする。
- 2) 電源周波数は(□50Hz □60Hz)とする。
- 3) 附属品は、標準仕様書によるほか下記による。(回路は表の●印の付いたものを適用する。)
- | 記 号 | 1 | 2 | 3 | 4 |
|-------------|---|---|---|---|
| 密閉回路又は冷却水用 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 開放回路 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| フ ー ト 弁 口 径 | A | A | A | A |
- 4) 電動機はインバーター制御対応と(□する □しない)。
- 5) グリーン購入法の区分に該当する機種は、グリーン購入法の判断基準を満たすものとする。
- 6) ポンプ口径は吸込口径とし、吐出口径は製造者標準とする。
2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			種 類	備 考
			長 さ	幅	高 さ		
1						☐ 単段 ☐ 多段	
2						☐ 単段 ☐ 多段	
3						☐ 単段 ☐ 多段	
4						☐ 単段 ☐ 多段	

記号	本 体 価 格	附属品価格				単 価 計	台数	金 額
1								
2								
3								
4								
計								¥

工事名

様式 28

工事場所 見積番号

機器名称 空調用ポンプ (/) 会社名

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	用 途	仕様	押込圧力 MPa	電 動 機				防振 架台	設 計 用 水平震度	台数
					相	V	㎾	極			
1	☐ 片吸込 ☐ 両吸込	☐ 冷温水用 ☐ 冷却水用	mmφ L/min m						☐ 要 ☐ 不要		
2	☐ 片吸込 ☐ 両吸込	☐ 冷温水用 ☐ 冷却水用	mmφ L/min m						☐ 要 ☐ 不要		
3	☐ 片吸込 ☐ 両吸込	☐ 冷温水用 ☐ 冷却水用	mmφ L/min m						☐ 要 ☐ 不要		
4	☐ 片吸込 ☐ 両吸込	☐ 冷温水用 ☐ 冷却水用	mmφ L/min m						☐ 要 ☐ 不要		

1. 特記事項
- 1) 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(□適用 □適用外)とする。
- 2) 電源周波数は(□50Hz □60Hz)とする。
- 3) 附属品は、標準仕様書によるほか下記による。(回路は表の●印の付いたものを適用する。)
- | 記 号 | 1 | 2 | 3 | 4 |
|-------------|---|---|---|---|
| 密閉回路又は冷却水用 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 開放回路 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| フ ー ト 弁 口 径 | A | A | A | A |
- 4) 電動機はインバーター制御対応と(□する □しない)。
- 5) グリーン購入法の区分に該当する機種は、グリーン購入法の判断基準を満たすものとする。
- 6) ポンプ口径は吸込口径とし、吐出口径は製造者標準とする。
2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			種 類	備 考
			長 さ	幅	高 さ		
1						☐ 単段 ☐ 多段	
2						☐ 単段 ☐ 多段	
3						☐ 単段 ☐ 多段	
4						☐ 単段 ☐ 多段	

記号	本 体 価 格	附属品価格				単 価 計	台数	金 額
1								
2								
3								
4								
計								¥

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式29

改定

現行

工事名

工事場所

機器名称

見積番号

会社名

ボイラー給水ポンプ

様式 29

※印が付いたものを適用、印のものは適用しないものとする。

記号	形式	仕様	電源		消費電力 kW	電圧 V	防振 架台	設計用 水平震度	台数
			相	V					
1	☐ 横形 ☐ 渦流形 ☐ 立形 ☐	mmφ L/min m					☐ 要 ☐ 不要		
2	☐ 横形 ☐ 渦流形 ☐ 立形 ☐	mmφ L/min m					☐ 要 ☐ 不要		
3	☐ 横形 ☐ 渦流形 ☐ 立形 ☐	mmφ L/min m					☐ 要 ☐ 不要		
4	☐ 横形 ☐ 渦流形 ☐ 立形 ☐	mmφ L/min m					☐ 要 ☐ 不要		

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和 年版）（☐適用 ☐適用外）とする。

2）電源周波数は（☐50Hz ☐60Hz）とする。

3）付属品は、標準仕様書によるほか下記による。（回路は表の●印の付いたものを適用する。）

記号	1	2	3	4
押込圧力有り	☐	☐	☐	☐
押込圧力無し	☐	☐	☐	☐
フート弁	A	A	A	A
自吸式	☐	☐	☐	☐

4）グリーン購入法の区分に該当する機種は、グリーン購入法の判断基準を満たすものとする。

5）ポンプ口径は吸込口径とし、吐出口径は製造者標準とする。

2. 製造者記載事項（設計仕様と異なる事項等）

3. 製造者仕様及び金額（製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。）

記号	製造者形番	製品 質量kg	標準寸法 mm			種類	備考
			長さ	幅	高さ		
1						☐ 単段 ☐ 多段	
2						☐ 単段 ☐ 多段	
3						☐ 単段 ☐ 多段	
4						☐ 単段 ☐ 多段	

記号	本体価格	附属品価格				単価計	台数	金額
1								
2								
3								
4								
計							¥	

－ 頁 －

工事名

工事場所

機器名称

見積番号

会社名

ボイラー給水ポンプ

様式 29

※印が付いたものを適用、印のものは適用しないものとする。

記号	形式	仕様	電源		消費電力 kW	電圧 V	防振 架台	設計用 水平震度	台数
			相	V					
1	☐ 横形 ☐ 渦流形 ☐ 立形 ☐	mmφ L/min m					☐ 要 ☐ 不要		
2	☐ 横形 ☐ 渦流形 ☐ 立形 ☐	mmφ L/min m					☐ 要 ☐ 不要		
3	☐ 横形 ☐ 渦流形 ☐ 立形 ☐	mmφ L/min m					☐ 要 ☐ 不要		
4	☐ 横形 ☐ 渦流形 ☐ 立形 ☐	mmφ L/min m					☐ 要 ☐ 不要		

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和 年版）（☐適用 ☐適用外）とする。

2）電源周波数は（☐50Hz ☐60Hz）とする。

3）付属品は、標準仕様書によるほか下記による。（回路は表の●印の付いたものを適用する。）

記号	1	2	3	4
押込圧力有り	☐	☐	☐	☐
押込圧力無し	☐	☐	☐	☐
フート弁	A	A	A	A
自吸式	☐	☐	☐	☐

4）グリーン購入法の区分に該当する機種は、グリーン購入法の判断基準を満たすものとする。

5）ポンプ口径は吸込口径とし、吐出口径は製造者標準とする。

2. 製造者記載事項（設計仕様と異なる事項等）

3. 製造者仕様及び金額（製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。）

記号	製造者形番	製品 質量kg	標準寸法 mm			種類	備考
			長さ	幅	高さ		
1						☐ 単段 ☐ 多段	
2						☐ 単段 ☐ 多段	
3						☐ 単段 ☐ 多段	
4						☐ 単段 ☐ 多段	

記号	本体価格	附属品価格				単価計	台数	金額
1								
2								
3								
4								
計							¥	

－ 頁 －

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式30

改 定

現 行

工 事 名

工事場所

機器名称

見積番号

会 社 名

真空給水ポンプユニット

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	制 御 方 式	方 式	仕 様	電 源			最大使用電流A	防振架台	設計用水平震度	台数	
					相	V	極					
1	PV-	□単式 □複式	□4°/分水位制御 □還水あり	□真空ポンプ方式 □エゼクター方式	EDR 吐出圧力	m³ MPa				□要 □不要	□要 □不要	
1		□単式 □複式	□4°/分水位制御 □還水あり	□真空ポンプ方式 □エゼクター方式	EDR 吐出圧力	m³ MPa				□要 □不要	□要 □不要	
1		□単式 □複式	□4°/分水位制御 □還水あり	□真空ポンプ方式 □エゼクター方式	EDR 吐出圧力	m³ MPa				□要 □不要	□要 □不要	

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和 年版）（ □適用 □適用外）とする。

2）電源周波数は（ □50Hz □60Hz）とする。

3）還水タンクは（ □あり □なし）とする。

2. 製造者記載事項（設計仕様と異なる事項等）

3. 製造者仕様及び金額（製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。）

記号	製 造 者 形 番	製品質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
			長 さ	幅	高 さ	
1						
2						
3						

記号	本 体 価 格	附属品価格				単 価 計	台数	金 額
1								
2								
3								
計								¥

－ 頁 －

工 事 名

工事場所

機器名称

見積番号

会 社 名

真空給水ポンプユニット

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	仕 様	電 動 機 (合 計)			防振架台	設計用水平震度	台数		
			相	V	kW					
1	□真空ポンプ方式 □エゼクター方式	EDR 吐出圧力	m³ MPa	□単式 □複式				□要 □不要	□要 □不要	
2	□真空ポンプ方式 □エゼクター方式	EDR 吐出圧力	m³ MPa	□単式 □複式				□要 □不要	□要 □不要	
3	□真空ポンプ方式 □エゼクター方式	EDR 吐出圧力	m³ MPa	□単式 □複式				□要 □不要	□要 □不要	

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和 年版）（ □適用 □適用外）とする。

2）電源周波数は（ □50Hz □60Hz）とする。

3）還水タンクは（ □あり □なし）とする。

2. 製造者記載事項（設計仕様と異なる事項等）

3. 製造者仕様及び金額（製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。）

記号	製 造 者 形 番	製品質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
			長 さ	幅	高 さ	
1						
2						
3						

記号	本 体 価 格	附属品価格				単 価 計	台数	金 額
1								
2								
3								
計								¥

－ 頁 －

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式31

改定

現行

工 事 名

工事場所

機器名称

オイルポンプ

（ / ）

会 社 名

様式 31

見積番号

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	用 途	形 式	仕 様	電 源			最大使用電流 A	備 考	台 数
				相	V	極			
1	□灯油 □A重油 (1種1号)	□渦流形 □歯車形	mmφ L/min m						
2	□灯油 □A重油 (1種1号)	□渦流形 □歯車形	mmφ L/min m						
3	□灯油 □A重油 (1種1号)	□渦流形 □歯車形	mmφ L/min m						

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(□適用 □適用外)とする。

2）電源周波数は(□50Hz □60Hz)とする。

3）歯車形の場合、吸込圧力は kPaとする。

4）ポンプ口径は吸込口径とし、吐出口径は製造者標準とする。

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製 造 者 形 番	製品質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
			長 さ	幅	高 さ	
1						
2						
3						

記号	本 体 価 格	附属品価格				単 価 計	台数	金 額
1								
2								
3								
計								¥

－ 頁 －

工 事 名

工事場所

機器名称

オイルポンプ

（ / ）

会 社 名

様式 31

見積番号

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	用 途	仕 様	電 動 機				備 考	台 数
				相	V	kW	極		
1	□渦流形 □歯車形	□灯油 □A重油 (1種1号)	mmφ L/min MPa						
2	□渦流形 □歯車形	□灯油 □A重油 (1種1号)	mmφ L/min MPa						
3	□渦流形 □歯車形	□灯油 □A重油 (1種1号)	mmφ L/min MPa						

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(□適用 □適用外)とする。

2）電源周波数は(□50Hz □60Hz)とする。

3）歯車形の場合、吸込圧力は kPaとする。

4）ポンプ口径は吸込口径とし、吐出口径は製造者標準とする。

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製 造 者 形 番	製品質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
			長 さ	幅	高 さ	
1						
2						
3						

記号	本 体 価 格	附属品価格				単 価 計	台数	金 額
1								
2								
3								
計								¥

－ 頁 －

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式32

改 定

現 行

工 事 名

工事場所

機器名称

見積番号

会 社 名

様式 32

揚水用ポンプ

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	仕 様	電 源		消費電力 kW	電動機出力 kW	防振 架 台	設計用 水平震度	台 数
			相	V					
1	☐横形 ☐立形 ☐片吸込 ☐両吸込 mmφ L/min m					☐要 ☐不要			
2	☐横形 ☐立形 ☐片吸込 ☐両吸込 mmφ L/min m					☐要 ☐不要			
3	☐横形 ☐立形 ☐片吸込 ☐両吸込 mmφ L/min m					☐要 ☐不要			
4	☐横形 ☐立形 ☐片吸込 ☐両吸込 mmφ L/min m					☐要 ☐不要			

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(□適用 □適用外)とする。

2）電源周波数は(□50Hz □60Hz)とする。

3）附属品は、標準仕様書によるほか下記による。(回路は表の●印の付いたものを適用する。)

記 号	1	2	3	4
押 込 圧 力 有 り	○	○	○	○
押 込 圧 力 無 し	○	○	○	○
フ ー ト 弁	A	A	A	A
自 吸 式	○	○	○	○

4）ポンプ口径は吸込口径とし、吐出口径は製造者標準とする。

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			種 類	備 考
			長 さ	幅	高 さ		
1						☐単段 ☐多段	
2						☐単段 ☐多段	
3						☐単段 ☐多段	
4						☐単段 ☐多段	

記号	本 体 価 格	附属品価格				単 価 計	台 数	金 額
1								
2								
3								
4								
計							¥	

－ 頁 －

工 事 名

工事場所

機器名称

見積番号

会 社 名

様式 32

揚水用ポンプ

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	仕 様	電 動 機		消費電力 kW	防振 架 台	設計用 水平震度	台 数	
			相	V					
1	☐横形 ☐立形 ☐片吸込 ☐両吸込 mmφ L/min m					☐要 ☐不要			
2	☐横形 ☐立形 ☐片吸込 ☐両吸込 mmφ L/min m					☐要 ☐不要			
3	☐横形 ☐立形 ☐片吸込 ☐両吸込 mmφ L/min m					☐要 ☐不要			
4	☐横形 ☐立形 ☐片吸込 ☐両吸込 mmφ L/min m					☐要 ☐不要			

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(□適用 □適用外)とする。

2）電源周波数は(□50Hz □60Hz)とする。

3）附属品は、標準仕様書によるほか下記による。(回路は表の●印の付いたものを適用する。)

記 号	1	2	3	4
押 込 圧 力 有 り	○	○	○	○
押 込 圧 力 無 し	○	○	○	○
フ ー ト 弁	A	A	A	A
自 吸 式	○	○	○	○

4）ポンプ口径は吸込口径とし、吐出口径は製造者標準とする。

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			種 類	備 考
			長 さ	幅	高 さ		
1						☐単段 ☐多段	
2						☐単段 ☐多段	
3						☐単段 ☐多段	
4						☐単段 ☐多段	

記号	本 体 価 格	附属品価格				単 価 計	台 数	金 額
1								
2								
3								
4								
計							¥	

－ 頁 －

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式33

改 定

現 行

工 事 名

工事場所

機器名称

見積番号

会 社 名

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	仕 様	電 源			防振 架台	設計用 水平震度	ポンプ 台数	ユニット 給水量	ユニット 台数
			相	V	極					
1	PU-1	mmφ L/min m □押込式 □吸上式 □自吸式				□要 □不要			L/min	
2		mmφ L/min m				□要 □不要			L/min	

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(□適用 □適用外)とする。

2）電源周波数は(□50Hz □60Hz)とする。

3）制御方式は(□吐出圧力一定制御 □末端圧力推定制御)とする。

4）運転方式は(□自動並列交互運転 □自動並列ローテーション運転)とする。

5）24時間強制ローテーション機能は(□要 □不要)とする。

6）附属品は、標準仕様書によるほか下記による。(回路は表の●印の付いたものを適用する。)

記 号	1	2
押込圧力有り	○	○
押込圧力無し	○	○
フート弁	A	A
自吸式	○	○

7）ポンプ口径は吸込口径とし、吐出口径は製造者標準とする。

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「ー」を記入。)

記号	製造者形番	製品 質量kg	標準寸法 mm			備 考
			長さ	幅	高さ	
1						
2						

記号	本体価格	附属品価格	単 価 計	ユニット台数	金 額
1					
2					
計					¥

工 事 名

工事場所

機器名称

見積番号

会 社 名

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	仕 様	電 動 機				防振 架台	設計用 水平震度	ポンプ 台数	ユニット 給水量	ユニット 台数
		相	V	kW	極					
1	mmφ L/min m			×		□要 □不要			L/min	
2	mmφ L/min m			×		□要 □不要			L/min	

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(□適用 □適用外)とする。

2）電源周波数は(□50Hz □60Hz)とする。

3）制御方式は(□吐出圧力一定制御 □末端圧力推定制御)とする。

4）運転方式は(□自動並列交互運転 □自動並列ローテーション運転)とする。

5）24時間強制ローテーション機能は(□要 □不要)とする。

6）附属品は、標準仕様書によるほか下記による。(回路は表の●印の付いたものを適用する。)

記 号	1	2
押込圧力有り	○	○
押込圧力無し	○	○
フート弁	A	A
自吸式	○	○

7）ポンプ口径は吸込口径とし、吐出口径は製造者標準とする。

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「ー」を記入。)

記号	製造者形番	製品 質量kg	標準寸法 mm			備 考
			長さ	幅	高さ	
1						
2						

記号	本体価格	附属品価格	単 価 計	ユニット台数	金 額
1					
2					
計					¥

工 事 名

工事場所

機器名称

見積番号

会 社 名

— 頁 —

— 頁 —

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式34

改 定

現 行

工 事 名

工事場所

機器名称

様式 34

見積番号

会 社 名

給湯用循環ポンプ

(/)

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	仕 様	電 源			消費電力 kW	最大使用電 流 A	台 数
			相	V	極			
1	□ライン	mmφ L/min m						
2	□ライン	mmφ L/min m						
3	□ライン	mmφ L/min m						
4	□ライン	mmφ L/min m						

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(□適用 □適用外)とする。

2）電源周波数は(□50Hz □60Hz)とする。

3）ポンプ口径は吸込口径とし、吐出口径は製造者標準とする。

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
			長 さ	幅	高 さ	
1						
2						
3						
4						

記号	本 体 価 格	附属品価格				単 価 計	台 数	金 額
1								
2								
3								
4								
							計	¥

－ 頁 －

工 事 名

工事場所

機器名称

様式 34

見積番号

会 社 名

給湯用循環ポンプ

(/)

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	仕 様	電 動 機				備 考	台 数
			相	V	kW	極		
1	□ライン	mmφ L/min m						
2	□ライン	mmφ L/min m						
3	□ライン	mmφ L/min m						
4	□ライン	mmφ L/min m						

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(□適用 □適用外)とする。

2）電源周波数は(□50Hz □60Hz)とする。

3）ポンプ口径は吸込口径とし、吐出口径は製造者標準とする。

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
			長 さ	幅	高 さ	
1						
2						
3						
4						

記号	本 体 価 格	附属品価格				単 価 計	台 数	金 額
1								
2								
3								
4								
							計	¥

－ 頁 －

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式35

改 定

現 行

工 事 名

工事場所

機器名称

様式 35

見積番号

会 社 名

※印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	仕 様	電 源			電動機電力 kW	ユニット台数
			相	V	極		
1		mmφ L/min m					
2		mmφ L/min m					

1. 特記事項

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
			長 さ	幅	高 さ	
1						
2						

記号	本 体 価 格	附属品価格				単 価 計	台数	金 額
1								
2								
計								¥

－ 頁 －

工 事 名

工事場所

機器名称

様式 35

見積番号

会 社 名

※印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	仕 様	電 動 機				備 考	ユニット台数
		相	V	kW	極		
1	mmφ L/min m						
2	mmφ L/min m						

1. 特記事項

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
			長 さ	幅	高 さ	
1						
2						

記号	本 体 価 格	附属品価格				単 価 計	台数	金 額
1								
2								
計								¥

－ 頁 －

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式36

改 定

現 行

工 事 名

工事場所

機器名称

様式 36

見積番号

会 社 名

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	種 類	仕 様	電 源		最大使用電流 A	着脱装置	フロートスイッチ	台 数
			相	V				
1	☐ 汚水用 ☐ 雑排水用 ☐ 汚物用	mmφ L/min m				☐ 要 ☐ 不要	個	
2	☐ 汚水用 ☐ 雑排水用 ☐ 汚物用	mmφ L/min m				☐ 要 ☐ 不要	個	
3	☐ 汚水用 ☐ 雑排水用 ☐ 汚物用	mmφ L/min m				☐ 要 ☐ 不要	個	
4	☐ 汚水用 ☐ 雑排水用 ☐ 汚物用	mmφ L/min m				☐ 要 ☐ 不要	個	

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(☐適用 ☐適用外)とする。

2）電源周波数は(☐50Hz ☐60Hz)とする。

3）ケーブルの長さは mとする。

4）電動機は(☐油封式 ☐乾式)とする。

5）着脱装置を設ける場合、ガイドレール等の長さは mとする。

6）ケーシング及び羽根車の材質は(☐鋳鉄製 ☐ステンレス製 ☐合成樹脂製)とする。

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製 造 者 形 番	製品質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
			長 さ	幅	高 さ	
1						
2						
3						
4						

記号	本 体 価 格	附属品価格	単 価 計	台数	金 額	フロートスイッチ 価 格	個数	金 額
2								
3								
4								
計								¥

－ 頁 －

工 事 名

工事場所

機器名称

様式 36

見積番号

会 社 名

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記号	形 式	仕様	電 動 機				着脱装置	フロートスイッチ	台 数
			相	V	kW	極			
1	☐ 汚水用 ☐ 雑排水用 ☐ 汚物用	mmφ L/min m					☐ 要 ☐ 不要	個	
2	☐ 汚水用 ☐ 雑排水用 ☐ 汚物用	mmφ L/min m					☐ 要 ☐ 不要	個	
3	☐ 汚水用 ☐ 雑排水用 ☐ 汚物用	mmφ L/min m					☐ 要 ☐ 不要	個	
4	☐ 汚水用 ☐ 雑排水用 ☐ 汚物用	mmφ L/min m					☐ 要 ☐ 不要	個	

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(☐適用 ☐適用外)とする。

2）電源周波数は(☐50Hz ☐60Hz)とする。

3）ケーブルの長さは mとする。

4）電動機は(☐油封式 ☐乾式)とする。

5）着脱装置を設ける場合、ガイドレール等の長さは mとする。

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製 造 者 形 番	製品質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
			長 さ	幅	高 さ	
1						
2						
3						
4						

記号	本 体 価 格	附属品価格	単 価 計	台数	金 額	フロートスイッチ 価 格	個数	金 額
2								
3								
4								
計								¥

－ 頁 －

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式

様式37

改定

現行

工事名

工事場所

機器名称

見積番号

会社名

遠心送風機

(/)

様式 37

※印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記号	形式	設置形式	仕様	許容騒音値 dB(A)	電 源			電動機 出力 kW	消費 電力 kW	防振 架台	設計用 水平 震度	台数
					相	V	極					
1	□片吸込 □両吸込	□床置形 □天井吊形	No. , m3/h 静圧 Pa						□要 □不要			
2	□片吸込 □両吸込	□床置形 □天井吊形	No. , m3/h 静圧 Pa						□要 □不要			
3	□片吸込 □両吸込	□床置形 □天井吊形	No. , m3/h 静圧 Pa						□要 □不要			
4	□片吸込 □両吸込	□床置形 □天井吊形	No. , m3/h 静圧 Pa						□要 □不要			
5	□片吸込 □両吸込	□床置形 □天井吊形	No. , m3/h 静圧 Pa						□要 □不要			

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和 年版）（□適用 □適用外）とする。

2）電源周波数は（□50Hz □60Hz）とする。

3）天吊形送風機（呼び番号2以上）は形鋼製架台を附属とする。

4）防振架台の防振材は（□ゴム □スプリング □ゴム又はスプリング）とし、振動絶縁効率は %以上とする。

5）許容騒音値測定方法は JIS B 8346 による。

6）送風機はベルト駆動とする。但し、呼び番号No. 2未満は、電動機直動形でもよい。

7）グリーン購入法の区分に該当する機種は、グリーン購入法の判断基準を満たすものとする。

8）ケーシング下部に水抜きは（□要 □不要）とする。

2. 製造者記載事項（設計仕様と異なる事項等）

3. 製造者仕様及び金額（製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。）

記号	製造者形番	製品 質量kg	標準寸法 mm			備 考
			長さ	幅	高さ	
1						
2						
3						
4						
5						

記号	本体価格	附属品価格				単 価 計	台数	金 額
1								
2								
3								
4								
5								
計								¥

－ 頁 －

工事名

工事場所

機器名称

見積番号

会社名

遠心送風機

(/)

様式 37

※印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記号	形式	設置方法	仕様	電 動 機				許容騒音値 dB(A)	防振 架台	設計用 水平 震度	台数
				相	V	kW	極				
1	□片吸込 □両吸込	□床置形 □天井吊形	No. , m3/h 静圧 Pa						□要 □不要		
2	□片吸込 □両吸込	□床置形 □天井吊形	No. , m3/h 静圧 Pa						□要 □不要		
3	□片吸込 □両吸込	□床置形 □天井吊形	No. , m3/h 静圧 Pa						□要 □不要		
4	□片吸込 □両吸込	□床置形 □天井吊形	No. , m3/h 静圧 Pa						□要 □不要		
5	□片吸込 □両吸込	□床置形 □天井吊形	No. , m3/h 静圧 Pa						□要 □不要		

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和 年版）（□適用 □適用外）とする。

2）電源周波数は（□50Hz □60Hz）とする。

3）天吊形送風機（呼び番号2以上）は形鋼製架台を附属とする。

4）防振架台の防振材は（□ゴム □スプリング □ゴム又はスプリング）とし、振動絶縁効率は %以上とする。

5）許容騒音値測定方法は JIS B 8346 による。

6）送風機はベルト駆動とする。但し、呼び番号No. 2未満は、電動機直動形でもよい。

7）グリーン購入法の区分に該当する機種は、グリーン購入法の判断基準を満たすものとする。

8）ケーシング下部に水抜きは（□要 □不要）とする。

2. 製造者記載事項（設計仕様と異なる事項等）

3. 製造者仕様及び金額（製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。）

記号	製造者形番	製品 質量kg	標準寸法 mm			備 考
			長さ	幅	高さ	
1						
2						
3						
4						
5						

記号	本体価格	附属品価格				単 価 計	台数	金 額
1								
2								
3								
4								
5								
計								¥

－ 頁 －

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式38

改 定

現 行

工 事 名

工事場所

機器名称

様式 38

見積番号

会 社 名

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	設 置 形 式	仕 様	許容騒音値 dB (A)	電 源			電動機 出力 kW	消費 電力 kW	台 数
					相	V	極			
1	☐ 片吸込 ☐ 両吸込	☐ 床置形 ☐ 天井吊形	No. , 静圧 Pa	m3/h						
2	☐ 片吸込 ☐ 両吸込	☐ 床置形 ☐ 天井吊形	No. , 静圧 Pa	m3/h						
3	☐ 片吸込 ☐ 両吸込	☐ 床置形 ☐ 天井吊形	No. , 静圧 Pa	m3/h						
4	☐ 片吸込 ☐ 両吸込	☐ 床置形 ☐ 天井吊形	No. , 静圧 Pa	m3/h						
5	☐ 片吸込 ☐ 両吸込	☐ 床置形 ☐ 天井吊形	No. , 静圧 Pa	m3/h						

1. 特記事項

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
			長 さ	幅	高 さ	
1						
2						
3						
4						
5						

記号	本 体 価 格	附属品価格				単 価 計	台数	金 額
1								
2								
3								
4								
5								
計								¥

－ 頁 －

工 事 名

工事場所

機器名称

様式 38

見積番号

会 社 名

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	設 置 方 法	仕 様	電 動 機				許容騒音値 dB (A)	台 数
				相	V	kW	極		
1	☐ 斜流 ☐ 軸流	☐ 床置形 ☐ 天井吊形	No. , 静圧 Pa	m3/h					
2	☐ 斜流 ☐ 軸流	☐ 床置形 ☐ 天井吊形	No. , 静圧 Pa	m3/h					
3	☐ 斜流 ☐ 軸流	☐ 床置形 ☐ 天井吊形	No. , 静圧 Pa	m3/h					
4	☐ 斜流 ☐ 軸流	☐ 床置形 ☐ 天井吊形	No. , 静圧 Pa	m3/h					
5	☐ 斜流 ☐ 軸流	☐ 床置形 ☐ 天井吊形	No. , 静圧 Pa	m3/h					

1. 特記事項

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
			長 さ	幅	高 さ	
1						
2						
3						
4						
5						

記号	本 体 価 格	附属品価格				単 価 計	台数	金 額
1								
2								
3								
4								
5								
計								¥

－ 頁 －

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式39

改 定

現 行

工 事 名

工事場所

機器名称

様式 39

見積番号

会 社 名

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	設 置 形 式	仕 様	許容騒音値 dB (A)	電 源			最大使用電流 A	消費電力 kW	台 数
					相	V	極			
1	☐ 遠心 ☐ 斜流	☐ 床置形 ☐ 天井吊形	No. , 静圧 Pa	m3/h						
2	☐ 遠心 ☐ 斜流	☐ 床置形 ☐ 天井吊形	No. , 静圧 Pa	m3/h						
3	☐ 遠心 ☐ 斜流	☐ 床置形 ☐ 天井吊形	No. , 静圧 Pa	m3/h						
4	☐ 遠心 ☐ 斜流	☐ 床置形 ☐ 天井吊形	No. , 静圧 Pa	m3/h						
5	☐ 遠心 ☐ 斜流	☐ 床置形 ☐ 天井吊形	No. , 静圧 Pa	m3/h						

1. 特記事項

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
			長 さ	幅	高 さ	
1						
2						
3						
4						
5						

記号	本 体 価 格	附属品価格				単 価 計	台数	金 額
1								
2								
3								
4								
5								
							計	¥

－ 頁 －

工 事 名

工事場所

機器名称

様式 39

見積番号

会 社 名

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	設 置 方 法	仕 様	電 動 機				許容騒音値 dB (A)	台 数
				相	V	kW	極		
1	☐ 遠心 ☐ 斜流	☐ 床置形 ☐ 天井吊形	No. , 静圧 Pa	m3/h					
2	☐ 遠心 ☐ 斜流	☐ 床置形 ☐ 天井吊形	No. , 静圧 Pa	m3/h					
3	☐ 遠心 ☐ 斜流	☐ 床置形 ☐ 天井吊形	No. , 静圧 Pa	m3/h					
4	☐ 遠心 ☐ 斜流	☐ 床置形 ☐ 天井吊形	No. , 静圧 Pa	m3/h					
5	☐ 遠心 ☐ 斜流	☐ 床置形 ☐ 天井吊形	No. , 静圧 Pa	m3/h					

1. 特記事項

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
			長 さ	幅	高 さ	
1						
2						
3						
4						
5						

記号	本 体 価 格	附属品価格				単 価 計	台数	金 額
1								
2								
3								
4								
5								
							計	¥

－ 頁 －

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）					第4章 機械設備工事 1. 見積書式				
様式40					様式40				
改 定					現 行				
工 事 名 _____ 様式 40					工 事 名 _____ 様式 40				
工事場所 _____ 見積番号 _____					工事場所 _____ 見積番号 _____				
機器名称 <u>換気扇</u> (/) 会 社 名 _____					機器名称 <u>換気扇</u> (/) 会 社 名 _____				
※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。					※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。				
記 号		設 置 形 式		仕 様		電 源			
						相	V	極	
1		□普通形 □給排兼用形 □圧力形 □天井埋込形		mm φ, m3/h 静圧 Pa					
2		□普通形 □給排兼用形 □圧力形 □天井埋込形		mm φ, m3/h 静圧 Pa					
3		□普通形 □給排兼用形 □圧力形 □天井埋込形		mm φ, m3/h 静圧 Pa					
4		□普通形 □給排兼用形 □圧力形 □天井埋込形		mm φ, m3/h 静圧 Pa					
5		□普通形 □給排兼用形 □圧力形 □天井埋込形		mm φ, m3/h 静圧 Pa					
6		□普通形 □給排兼用形 □圧力形 □天井埋込形		mm φ, m3/h 静圧 Pa					
記号	最大使用電流 A	消費電力 kW	附 属 品		備 考	台 数			
1			□ シャッター付	□ 製 ウェザークカバー付					
2			□ シャッター付	□ 製 ウェザークカバー付					
3			□ シャッター付	□ 製 ウェザークカバー付					
4			□ シャッター付	□ 製 ウェザークカバー付					
5			□ シャッター付	□ 製 ウェザークカバー付					
6			□ シャッター付	□ 製 ウェザークカバー付					
1. 特記事項 1) 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)適用外とする。 2) 電源周波数は(□50Hz □60Hz)とする。 3) 騒音値測定は JIS C 9603 による。									
2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)									
3. 製造者仕様及び金額									
記号	製造者形番	本体価格	附属品価格		単価計	台数	金 額		
1									
2									
3									
4									
5									
6									
						計	¥		
- 頁 -									

記 号		設 置 形 式		仕 様		電 動 機			許容騒音値 dB(A)
						相	V	kW	
1		□普通形 □給排兼用形 □圧力形 □天井埋込形		mm φ, m3/h 静圧 Pa					
2		□普通形 □給排兼用形 □圧力形 □天井埋込形		風量 m3/h 静圧 Pa					
3		□普通形 □給排兼用形 □圧力形 □天井埋込形		風量 m3/h 静圧 Pa					
4		□普通形 □給排兼用形 □圧力形 □天井埋込形		風量 m3/h 静圧 Pa					
5		□普通形 □給排兼用形 □圧力形 □天井埋込形		風量 m3/h 静圧 Pa					
6		□普通形 □給排兼用形 □圧力形 □天井埋込形		風量 m3/h 静圧 Pa					
記号	付	属 品		備 考		台 数			
1	□	シャッター付 □ 製 ウェザークカバー付							
2	□	シャッター付 □ 製 ウェザークカバー付							
3	□	シャッター付 □ 製 ウェザークカバー付							
4	□	シャッター付 □ 製 ウェザークカバー付							
5	□	シャッター付 □ 製 ウェザークカバー付							
6	□	シャッター付 □ 製 ウェザークカバー付							
1. 特記事項 1) 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)適用外とする。 2) 電源周波数は(□50Hz □60Hz)とする。 3) 騒音値測定は JIS C 9603 による。									
2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)									
3. 製造者仕様及び金額									
記号	製造者形番	本体価格	附属品価格		単価計	台数	金 額		
1									
2									
3									
4									
5									
6									
						計	¥		
- 頁 -									

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式41

改 定

現 行

様式 41

工 事 名

工事場所

機器名称 排煙機 (/)

見積番号

会 社 名

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	設 置 形 式	仕 様	エ ン ジ ン (制 御 盤 共)
1	☐ 遠心式 ☐ 軸流式 ☐ 斜流式	☐ 床置形 ☐ 天井吊形	No. , 静圧 Pa	☐ 無 ☐ 付き
2	☐ 遠心式 ☐ 軸流式 ☐ 斜流式	☐ 床置形 ☐ 天井吊形	No. , 静圧 Pa	☐ 無 ☐ 付き
3	☐ 遠心式 ☐ 軸流式 ☐ 斜流式	☐ 床置形 ☐ 天井吊形	No. , 静圧 Pa	☐ 無 ☐ 付き

記 号	電 源			電動機出力 kW	備 考	台 数
	相	V	極			
1						
2						
3						

1. 特記事項 1) 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(☐適用 ☐適用外)とする。
2) 電源周波数は(☐50Hz ☐60Hz)とする。

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
			長 さ	幅	高 さ	
1						
2						
3						

記号	本 体 価 格	附属品価格			単 価 計	台数	金 額
1							
2							
3							
計							¥

－ 頁 －

様式 41

工 事 名

工事場所

機器名称 排煙機 (/)

見積番号

会 社 名

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	形 式	設 置 方 法	仕 様	エ ン ジ ン (制 御 盤 共)
1	☐ 遠心式 ☐ 軸流式 ☐ 斜流式	☐ 床置形 ☐ 天井吊形	No. , 静圧 Pa	☐ 無 ☐ 付き
2	☐ 遠心式 ☐ 軸流式 ☐ 斜流式	☐ 床置形 ☐ 天井吊形	No. , 静圧 Pa	☐ 無 ☐ 付き
3	☐ 遠心式 ☐ 軸流式 ☐ 斜流式	☐ 床置形 ☐ 天井吊形	No. , 静圧 Pa	☐ 無 ☐ 付き

記号	電 動 機			備 考	台 数
	相	V	k W		
1					
2					
3					

1. 特記事項 1) 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(☐適用 ☐適用外)とする。
2) 電源周波数は(☐50Hz ☐60Hz)とする。

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
			長 さ	幅	高 さ	
1						
2						
3						

記号	本 体 価 格	附属品価格				単 価 計	台数	金 額
1								
2								
3								
計								¥

－ 頁 －

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式43

改 定

現 行

工事名

工事場所

機器名称

様式 43

見積番号

会社名

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	規 格	容 量 L	直 径 mm	胴 長 mm	仕 様	タンク室
					鋼 板 厚 さ	
1	—				鏡板 mm, 胴板 mm	☐ 設けない ☐ 設ける
2	—				鏡板 mm, 胴板 mm	☐ 設けない ☐ 設ける
3	—				鏡板 mm, 胴板 mm	☐ 設けない ☐ 設ける

記号	附 属 品	タ ン ク 外 面 保 護 材	備 考	台 数
1	☐ 含む ☐ 含まず	☐ 強化プラスチック被覆 ☐ ウレタンエラストマー樹脂被覆 ☐ エポキシ樹脂被覆 ☐ 錆止め塗装		
2	☐ 含む ☐ 含まず	☐ 強化プラスチック被覆 ☐ ウレタンエラストマー樹脂被覆 ☐ エポキシ樹脂被覆 ☐ 錆止め塗装		
3	☐ 含む ☐ 含まず	☐ 強化プラスチック被覆 ☐ ウレタンエラストマー樹脂被覆 ☐ エポキシ樹脂被覆 ☐ 錆止め塗装		

1. 特記事項 1）公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和 年版）（ ☐適用 ☐適用外）とする。
2）注油方式は（ ☐直上注油 ☐遠方注油）とする。

2. 製造者記載事項（設計仕様と異なる事項等）

3. 製造者仕様及び金額

記号	製 造 者 形 番	本体 質量kg	備 考
1			
2			
3			

記号	本 体 価 格	附 属 品 価 格		単 価 計	台 数	金 額
1						
2						
3						
計						¥

— 頁 —

工事名

工事場所

機器名称

様式 43

見積番号

会社名

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	規 格	容 量 L	直 径 mm	胴 長 mm	仕 様	タンク室
					鋼 板 厚 さ	
1	—				鏡板 mm, 胴板 mm	☐ 設けない ☐ 設ける
2	—				鏡板 mm, 胴板 mm	☐ 設けない ☐ 設ける
3	—				鏡板 mm, 胴板 mm	☐ 設けない ☐ 設ける

記号	付 属 品	タ ン ク 外 面 保 護 材	備 考	台 数
1	☐ 含む ☐ 含まず	☐ 強化プラスチック被覆 ☐ ウレタンエラストマー樹脂被覆 ☐ エポキシ樹脂被覆 ☐ 錆止め塗装		
2	☐ 含む ☐ 含まず	☐ 強化プラスチック被覆 ☐ ウレタンエラストマー樹脂被覆 ☐ エポキシ樹脂被覆 ☐ 錆止め塗装		
3	☐ 含む ☐ 含まず	☐ 強化プラスチック被覆 ☐ ウレタンエラストマー樹脂被覆 ☐ エポキシ樹脂被覆 ☐ 錆止め塗装		

1. 特記事項 1）公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和 年版）（ ☐適用 ☐適用外）とする。
2）注油方式は（ ☐直上注油 ☐遠方注油）とする。

2. 製造者記載事項（設計仕様と異なる事項等）

3. 製造者仕様及び金額

記号	製 造 者 形 番	本体 質量kg	備 考
1			
2			
3			

記号	本 体 価 格	附 属 品 価 格		単 価 計	台 数	金 額
1						
2						
3						
計						¥

— 頁 —

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式60

改 定

現 行

工 事 名

工事場所

機器名称

ガス貯湯湯沸器

（ / ）

会 社 名

様式 60

見積番号

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	容 量 L	ガ ス 消 費 量	設 置 形 式	電 源		消 費 電 力	備 考	台 数
				相	V	kW		
1		kW	□置台式 □					
2		kW	□置台式 □					
3		kW	□置台式 □					
4		kW	□置台式 □					

1. 特記事項 1）公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(□適用 □適用外)とする。
2）使用ガスは(□都市ガス(ガス種) □液化石油ガス)とする。
3）発熱量は kJ/m3(N), kJ/kgとする。
4）オーバーフロー配管及び壁固定金物は機器附属とする。

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
			長 さ	幅	高 さ	
1						
2						
3						
4						

記号	本 体 価 格	附 属 品 価 格	単 価 計	台 数	金 額
1					
2					
3					
4					
計					¥

－ 頁 －

工 事 名

工事場所

機器名称

ガス貯湯湯沸器

（ / ）

会 社 名

様式 60

見積番号

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	容 量 L	ガ ス 消 費 量	設 置 形 式	電 気 容 量			備 考	台 数
				相	V	kW		
1		kW	□置台式 □					
2		kW	□置台式 □					
3		kW	□置台式 □					
4		kW	□置台式 □					

1. 特記事項 1）公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(□適用 □適用外)とする。
2）使用ガスは(□都市ガス(ガス種) □液化石油ガス)とする。
3）発熱量は kJ/m3N, kJ/kgとする。
4）オーバーフロー配管及び壁固定金物は機器附属とする。

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製 造 者 形 番	製品 質量kg	標 準 寸 法 mm			備 考
			長 さ	幅	高 さ	
1						
2						
3						
4						

記号	本 体 価 格	附 属 品 価 格	単 価 計	台 数	金 額
1					
2					
3					
4					
計					¥

－ 頁 －

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式61

改定

現行

工事名

工事場所

機器名称

ガス瞬間湯沸器

（ / ）

会社名

様式 61

見積番号

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記号	形式	用途	能力	ガス消費量	設置形式	排気方式
1	☐ 一般形 ☐ 風呂用 ☐ 潜熱回収型	☐ 給湯用 ☐ 風呂用 ☐ 追焚き付き ☐ 追焚き無し	号	kW	☐ 壁掛形 ☐	☐ 開放式 ☐ 自然給排気式(B F式) ☐ 強制排気式(F E式) ☐ 強制給排気式(F F式) ☐ 屋外式(R F式)
2	☐ 一般形 ☐ 風呂用 ☐ 潜熱回収型	☐ 給湯用 ☐ 風呂用 ☐ 追焚き付き ☐ 追焚き無し	号	kW	☐ 壁掛形 ☐	☐ 開放式 ☐ 自然給排気式(B F式) ☐ 強制排気式(F E式) ☐ 強制給排気式(F F式) ☐ 屋外式(R F式)

記号	リモコン	電 源		消費電力 kW	備考	台数
		相	V			
1	☐ 給湯用附属 ☐ 風呂用附属 ☐ 不要					
2	☐ 給湯用附属 ☐ 風呂用附属 ☐ 不要					

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和 年版）（☐適用 ☐適用外）とする。
2）使用ガスは（☐都市ガス（ガス種 ）☐液化石油ガス）とする。
3）発熱量は kJ/m3 (N), kJ/kgとする。
4）壁固定金物は附属とする。
5）号数は25℃上昇の出湯量(L/min)を示す。
6）リモコンの配線は見積金額に（☐含む ☐含まない（製造者標準の仕様を記載する。））ものとする。
7）開放式は（☐水圧スイッチ組込）とする。
8）強制排気式(FE式)は排気口及び排気筒（約 m、曲がり部 箇所）を附属とする。
9）強制給排気式(FF式)は給排気口及び給排気筒（約 m、曲がり部 箇所）を附属とする。
10）追焚き付きの運転方式は（☐オート ☐フルオート）とする。
11）追焚き付きは循環7ﾀﾞﾌﾞﾙｰ及び追焚き配管（約 m）を附属とする。
12）潜熱回収型の熱効率率は %以上（基準総発熱量）とする。
13）グリーン購入法の区分に該当する機種は、グリーン購入法の判断基準を満たすものとする。

2. 製造者記載事項（設計仕様と異なる事項等）

3. 製造者仕様及び金額（製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。）

記号	製造者形番	製品質量kg	標準寸法 mm			リモコン配線仕様	備考
			長さ	幅	高さ		
1							
2							

記号	本体価格	附属品価格		単価計	台数	金額
1						
2						
計						¥

－ 頁 －

工事名

工事場所

機器名称

ガス瞬間湯沸器

（ / ）

会社名

様式 61

見積番号

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記号	形式	用途	能力	ガス消費量	設置形式	排気方式
1	☐ 一般形 ☐ 風呂用 ☐ 潜熱回収型	☐ 給湯用 ☐ 風呂用 ☐ 追焚き付き ☐ 追焚き無し	号	kW	☐ 壁掛形 ☐	☐ 開放式 ☐ 自然給排気式(B F式) ☐ 強制排気式(F E式) ☐ 強制給排気式(F F式) ☐ 屋外式(R F式)
2	☐ 一般形 ☐ 風呂用 ☐ 潜熱回収型	☐ 給湯用 ☐ 風呂用 ☐ 追焚き付き ☐ 追焚き無し	号	kW	☐ 壁掛形 ☐	☐ 開放式 ☐ 自然給排気式(B F式) ☐ 強制排気式(F E式) ☐ 強制給排気式(F F式) ☐ 屋外式(R F式)

記号	リモコン	電 気 容 量		備考	台数
		相	V		
1	☐ 給湯用附属 ☐ 風呂用附属 ☐ 不要				
2	☐ 給湯用附属 ☐ 風呂用附属 ☐ 不要				

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和 年版）（☐適用 ☐適用外）とする。
2）使用ガスは（☐都市ガス（ガス種 ）☐液化石油ガス）とする。
3）発熱量は kJ/m3N, kJ/kgとする。
4）壁固定金物は附属とする。
5）号数は25℃上昇の出湯量(L/min)を示す。
6）リモコンの配線は見積金額に（☐含む ☐含まない（製造者標準の仕様を記載する。））ものとする。
7）開放式は（☐水圧スイッチ組込）とする。
8）強制排気式(FE式)は排気口及び排気筒（約 m、曲がり部 箇所）を附属とする。
9）強制給排気式(FF式)は給排気口及び給排気筒（約 m、曲がり部 箇所）を附属とする。
10）追焚き付きの運転方式は（☐オート ☐フルオート）とする。
11）追焚き付きは循環7ﾀﾞﾌﾞﾙｰ及び追焚き配管（約 m）を附属とする。
12）潜熱回収型の熱効率率は %以上（基準総発熱量）とする。
13）グリーン購入法の区分に該当する機種は、グリーン購入法の判断基準を満たすものとする。

2. 製造者記載事項（設計仕様と異なる事項等）

3. 製造者仕様及び金額（製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。）

記号	製造者形番	製品質量kg	標準寸法 mm			リモコン配線仕様	備考
			長さ	幅	高さ		
1							
2							

記号	本体価格	附属品価格		単価計	台数	金額
1						
2						
計						¥

－ 頁 －

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式62

改 定

現 行

工 事 名

工事場所

機器名称

貯湯式電気温水器

（ / ）

会 社 名

見積番号

会 社 名

様式 62

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記号	設置形式	仕 様	用 途	容 量 L	電 源		消費電力	備 考	台 数
					相	V	kW		
1	☐置台形 ☐台下形 ☐壁掛形	☐元止め式 ☐先止め式	☐飲用 ☐洗物用						
2	☐置台形 ☐台下形 ☐壁掛形	☐元止め式 ☐先止め式	☐飲用 ☐洗物用						
3	☐置台形 ☐台下形 ☐壁掛形	☐元止め式 ☐先止め式	☐飲用 ☐洗物用						
4	☐置台形 ☐台下形 ☐壁掛形	☐元止め式 ☐先止め式	☐飲用 ☐洗物用						

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和 年版）（☐適用 ☐適用外）とする。

2）週間タイマーは（☐要 ☐不要）とし、制御盤に節電機能を（☐組み込む ☐組み込まない）。

3）飲用の場合は最高湯上げ温度 ℃以上とする。

4）オーバーフロー配管を附属と（☐する ☐しない）。

5）逆流防止機能付き排水装置を附属と（☐する ☐しない）。

2. 製造者記載事項（設計仕様と異なる事項等）

3. 製造者仕様及び金額（製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。）

記号	製造者形番	製品質量kg	標準寸法 mm			備 考
			長さ	幅	高さ	
1						
2						
3						
4						

記号	本体価格	附属品価格	単 価 計	台 数	金 額
1					
2					
3					
4					
計					¥

－ 頁 －

工 事 名

工事場所

機器名称

貯湯式電気温水器

（ / ）

会 社 名

見積番号

会 社 名

様式 62

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記号	設置形式	仕 様	用 途	容 量 L	電 気 容 量			備 考	台 数
					相	V	kW		
1	☐置台形 ☐台下形 ☐壁掛形	☐元止め式 ☐先止め式	☐飲用 ☐洗物用						
2	☐置台形 ☐台下形 ☐壁掛形	☐元止め式 ☐先止め式	☐飲用 ☐洗物用						
3	☐置台形 ☐台下形 ☐壁掛形	☐元止め式 ☐先止め式	☐飲用 ☐洗物用						
4	☐置台形 ☐台下形 ☐壁掛形	☐元止め式 ☐先止め式	☐飲用 ☐洗物用						

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和 年版）（☐適用 ☐適用外）とする。

2）週間タイマーは（☐要 ☐不要）とし、制御盤に節電機能を（☐組み込む ☐組み込まない）。

3）飲用の場合は最高湯上げ温度 ℃以上とする。

4）オーバーフロー配管を附属と（☐する ☐しない）。

5）逆流防止機能付き排水装置を附属と（☐する ☐しない）。

2. 製造者記載事項（設計仕様と異なる事項等）

3. 製造者仕様及び金額（製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。）

記号	製造者形番	製品質量kg	標準寸法 mm			備 考
			長さ	幅	高さ	
1						
2						
3						
4						

記号	本体価格	附属品価格	単 価 計	台 数	金 額
1					
2					
3					
4					
計					¥

－ 頁 －

公共建築工事見積標準書式（設備工事編）

第4章 機械設備工事 1. 見積書式
様式63

改 定

現 行

工 事 名

工事場所

機器名称

ヒートポンプ給湯機

（ / ）

会 社 名

様式 63

見積番号

工 事 名

工事場所

機器名称

ヒートポンプ給湯機

（ / ）

会 社 名

様式 63

見積番号

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	保温機能	加熱能力 kW	貯湯タンク L	電 源		消費電力 kW	リ モ コ ン	備 考	台 数
				相	V				
1	☐有 ☐無						☐給湯用(配線約 m)附属 ☐風呂用(配線約 m)附属 ☐不要		
2	☐有 ☐無						☐給湯用(配線約 m)附属 ☐風呂用(配線約 m)附属 ☐不要		
3	☐有 ☐無						☐給湯用(配線約 m)附属 ☐風呂用(配線約 m)附属 ☐不要		

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(□適用 □適用外)とする。
2）保温機能有りの運転方式は(□オート □フルオート)とする。
3）保温機能有りは循環ポンプ及び追焚配管(約 m)を附属とする。
4）グリーン購入法の区分に該当する機種は、グリーン購入法の判断基準を満たすものとする。

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製 造 者 形 番	ヒートポンプユニット（貯湯ユニット）				貯湯ユニット（別体式の場合）				備 考
		製品 質量kg	標 準 寸 法 長 さ	幅	高 さ	製品 質量kg	標 準 寸 法 長 さ	幅	高 さ	
1										
2										
3										

記号	本 体 価 格	附 属 品 価 格		単 価 計	台 数	金 額
1						
2						
3						
				計		¥

－ 頁 －

※■印が付いたものを適用、□印のものは適用しないものとする。

記 号	保温機能	加熱能力 kW	貯湯タンク L	電 動 機			リ モ コ ン	備 考	台 数
				相	V	kW			
1	☐有 ☐無						☐給湯用(配線約 m)附属 ☐風呂用(配線約 m)附属 ☐不要		
2	☐有 ☐無						☐給湯用(配線約 m)附属 ☐風呂用(配線約 m)附属 ☐不要		
3	☐有 ☐無						☐給湯用(配線約 m)附属 ☐風呂用(配線約 m)附属 ☐不要		

1. 特記事項

1）公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(□適用 □適用外)とする。
2）保温機能有りの運転方式は(□オート □フルオート)とする。
3）保温機能有りは循環ポンプ及び追焚配管(約 m)を附属とする。
4）グリーン購入法の区分に該当する機種は、グリーン購入法の判断基準を満たすものとする。

2. 製造者記載事項(設計仕様と異なる事項等)

3. 製造者仕様及び金額(製品質量及び標準寸法は、製品質量が100kg未満の場合は「－」を記入。)

記号	製 造 者 形 番	ヒートポンプユニット（貯湯ユニット）				貯湯ユニット（別体式の場合）				備 考
		製品 質量kg	標 準 寸 法 長 さ	幅	高 さ	製品 質量kg	標 準 寸 法 長 さ	幅	高 さ	
1										
2										
3										

記号	本 体 価 格	附 属 品 価 格		単 価 計	台 数	金 額
1						
2						
3						
				計		¥

－ 頁 －